

[様式6]

財団法人 大学基準協会

2010（平成22）年度「大学評価」申請用
大学基礎データ

※ 2010（平成22）年度に「大学評価」を申請する大学は必ず本様式を使用してください。

追 手 門 学 院 大 学

追手門学院大学 大学基礎データ 目次

	頁
I 教育研究組織	
1 (表1) 全学の設置学部・学科・大学院研究科等 (2009年5月1日現在)	1
2 (表2) 全学の設置学部・学科・大学院研究科等 (2010年4月1日現在)	3
II 教育内容・方法等	
1 (表3) 開設授業科目における専兼比率	5
2 (表4) 単位互換協定に基づく単位認定の状況	8
3 (表5) 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況	10 該当なし
4 (表6) 卒業判定	11
5 (表7) 大学院における学位授与状況	13
6 (表8) 就職・大学院進学状況	16
7 (表9) 国家試験合格率	20 該当なし
8 (表10) 公開講座の開設状況	21
9 (表11) 学生の国別国際交流	22
10 (表12) 教員・研究者の国際学術研究交流	23
III 学生の受け入れ	
1 (表13) 学部・学科の志願者・合格者・入学者の推移	25
2 (表14) 学部・学科の学生定員及び在籍学生数	38
3 (表15) 学部の入学者の構成	40
4 (表17) 学部・学科の退学者数	42
5 (表18) 大学院研究科の学生定員及び在籍学生数	44
6 (表18-2) 法科大学院の学生定員及び在籍学生数	46 該当なし
7 (表18-3) 大学院研究科の志願者・合格者・入学者数の推移	47
8 (表18-4) 法科大学院の志願者・合格者・入学者数の推移	55 該当なし
IV 教員組織	
1-1 (表19) 全学の教員組織 (教育組織と教員組織が異なる場合の記入例)	56
1-2 (表19-2) 学部の教員組織	60
1-3 (表19-3) 大学院研究科の教員組織 (専門職大学院を除く)	65
1-4 (表19-4) 専門職大学院の教員組織	67 該当なし

1-5	(表19-5) 事務組織	68
2	(表20) 専任教員個別表	—
3	(表21) 専任教員年齢構成	71
4	(表22) 専任教員の担当授業時間	73
5	(表23) 専任教員の給与	76
V 研究環境		
1	(表24) 専任教員の教育・研究業績	—
2	(表25) 専任教員の教育・研究業績 (芸術分野や体育実技等の分野を担当する教員)	—
3	(表29) 専任教員の研究費 (実績)	77
4	(表30) 専任教員の研究旅費	78
5	(表31) 学内共同研究費	79 該当なし
6	(表32) 教員研究費内訳	80
7	(表33) 科学研究費の採択状況	86
8	(表34) 学外からの研究費	87
9	(表35) 教員研究室	88
VI 施設・設備等		
1	(表36) 校地、校舎、講義室・演習室等の面積	89
2	(表36-2) 主要施設の概況	90
3	(表37) 学部・研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模	94
4	(表38) 学部・研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規模	95
5	(表40) 学部・研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況一覧表	101
VII 図書・電子媒体		
1	(表41) 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況	110
2	(表42) 図書館利用状況	111
3	(表43) 学生閲覧室等	112
VIII 学生生活		
1	(表44) 奨学金給付・貸与状況	113
2	(表45) 学生相談室利用状況	115
IX 財務 (私立大学のみ)		
1-1	(表46) 消費収支計算書関係比率 (法人全体のもの)	116
1-2	(表46-2) 消費収支計算書関係比率 (大学単独のもの)	117

2	(表47) 貸借対照表関係比率	118
X	情報公開・説明責任	
1	(表48) 財政公開状況 (私立大学のみ)	119

I 教育研究組織

1 全学の設置学部・学科・大学院研究科等（2009年5月1日現在）

(表1)

名 称	開設年月日	所 在 地	備 考
経済学部経済学科	1966年4月1日	大阪府茨木市西安威二丁目1番15号	
経済学部ヒューマンエコノミー学科	2005年4月1日	同上	届出による設置
経済学部国際経済学科	1998年4月1日	同上	2005年4月募集停止
経営学部経営学科	1995年4月1日	同上	
経営学部マーケティング学科	2005年4月1日	同上	届出による設置
経営学部国際経営学科	1999年4月1日	同上	2005年4月募集停止
心理学部心理学科	2006年4月1日	同上	届出による設置
社会学部社会学科	2006年4月1日	同上	届出による設置
国際教養学部アジア学科	2007年4月1日	同上	届出による設置
国際教養学部英語コミュニケーション学科	2007年4月1日	同上	届出による設置
人間学部心理学科	1995年4月1日	同上	2006年4月募集停止
人間学部社会学科	1995年4月1日	同上	2006年4月募集停止
文学部アジア文化学科	1998年4月1日	同上	2007年4月募集停止
文学部英語文化学科	1998年4月1日	同上	2007年4月募集停止
経済学研究科経済学専攻（博士前期課程）	1979年4月1日	同上	
経済学研究科経済学専攻（博士後期課程）	2000年4月1日	同上	
経営学研究科経営学専攻（博士前期課程）	2006年4月1日	同上	届出による設置
経営学研究科経営学専攻（博士後期課程）	2006年4月1日	同上	届出による設置

(表1)

名 称	開設年月日	所 在 地	備 考
経済学研究科経営学専攻（博士前期課程）	1999年4月1日	同上	2006年4月募集停止
経済学研究科経営学専攻（博士後期課程）	1999年4月1日	同上	2006年4月募集停止
心理学研究科心理学専攻（修士課程）	2008年4月1日	同上	届出による設置
文学研究科社会学専攻（修士課程）	1975年4月1日	同上	
文学研究科中国文化専攻（修士課程）	1977年4月1日	同上	
文学研究科英文学専攻（修士課程）	1984年4月1日	同上	
文学研究科心理学専攻（修士課程）	1973年4月1日	同上	2008年4月募集停止
オーストラリア研究所	1967年6月1日	同上	
教育研究所	1969年4月1日	同上	
ベンチャービジネス研究所	2006年4月1日	同上	
総合情報教育センター	1996年4月1日	同上	1968年～1995年までは計算センターの名称
国際交流教育センター	2002年4月1日	同上	
地域支援心理研究センター	2004年4月1日	同上	

- [注] 1 学部・学科、大学院研究科・専攻、研究所等ごとに記載してください。
 2 当該学部、研究科の開設が届出による場合は、備考欄にその旨記載してください。
 3 当該研究科もしくは専攻が専門職大学院である場合は、備考欄にその旨記載してください。
 4 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織がある場合には、学部にならい記載してください。
 5 通信教育課程、専攻科、別科等があれば、これも記載してください。

2 全学の設置学部・学科・大学院研究科等（2010年4月1日現在）

（表2）

学部、大学院研究科等	学科、専攻の名称	収容定員(名)	所在地	備考
経済学部	経済学科	810	大阪府茨木市西安威二丁目1番15号	
経済学部	ヒューマンエコノミー学科	570	同上	2005年4月受け入れ開始
経済学部	国際経済学科	0	同上	2005年4月募集停止
経営学部	経営学科	814	同上	
経営学部	マーケティング学科	752	同上	2005年4月受け入れ開始
経営学部	国際経営学科	0	同上	2005年4月募集停止
心理学部（※2）	心理学科	820	同上	2006年4月受け入れ開始
社会学部（※2）	社会学科	614	同上	2006年4月受け入れ開始
国際教養学部（※2）	アジア学科	410	同上	2007年4月受け入れ開始
国際教養学部（※2）	英語コミュニケーション学科	530	同上	2007年4月受け入れ開始
人間学部	心理学科	0	同上	2006年4月募集停止
人間学部	社会学科	0	同上	2006年4月募集停止
文学部	アジア文化学科	0	同上	2007年4月募集停止
文学部	英語文化学科	0	同上	2007年4月募集停止
経済学研究科	経済学専攻（博士前期課程）	30	同上	
経済学研究科	経済学専攻（博士後期課程）	9	同上	
経営学研究科	経営学専攻（博士前期課程）	30	同上	2006年4月受け入れ開始
経営学研究科	経営学専攻（博士後期課程）	9	同上	2006年4月受け入れ開始
経済学研究科	経営学専攻（博士前期課程）	0	同上	2006年4月募集停止
経済学研究科	経営学専攻（博士後期課程）	0	同上	2006年4月募集停止
心理学研究科（※2）	心理学専攻（修士課程）	50	同上	2008年4月受け入れ開始
文学研究科	社会学専攻（修士課程）	10	同上	
文学研究科	中国文化専攻（修士課程）	10	同上	
文学研究科	英文学専攻（修士課程）	10	同上	
文学研究科	心理学専攻（修士課程）	0	同上	2008年4月募集停止
		5,478		

- [注]
- 1 申請年（2010年）4月1日付で設置している学部・学科、研究科・専攻を記入してください（募集停止しているものを含みます）。
 - 2 通信教育課程があれば、これも記載してください。
 - 3 申請年度（2010年度）から学生受け入れを開始、名称を変更した学部・学科、研究科・専攻名は、備考欄にその旨を付記してください。
 - 4 学生募集を停止している学部・学科、研究科・専攻名には、備考欄にその旨を付記してください。
 - 5 専門職大学院は、該当する研究科・専攻名に、（専門職）と付記してください。
 - 6 申請年4月時に完成年度に達していない学部・学科、研究科・専攻には（※1）を、申請資格充足年度（完成年度+1年）を経ている学部・学科、研究科・専攻には（※2）を付記し、備考欄に学生受入れ年月を記入してください。
 - 7 収容定員は、入学定員を変更している場合、編入学を実施している場合、完成年度に達していない場合、学生募集を停止している場合など、「現在の入学定員×標準修業年限」では算出できませんので注意してください。
 - 8 現在、文部科学省に設置申請中の学部・学科、大学院研究科・専攻・課程（修士・博士）がある場合は、記載してください。

II 教育研究の内容・方法等

1 開設授業科目における専兼比率

(表3)

学部・学科				必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
経済学部	経済学科	学科科目	専任担当科目数 (A)	68	44	172
			兼任担当科目数 (B)	0	5	36
			専兼比率 % (A / (A + B) *100)	100.0	89.8	82.7
	ヒューマンエコノミー学科	学科科目	専任担当科目数 (A)	61	56	164
			兼任担当科目数 (B)	0	7	32
			専兼比率 % (A / (A + B) *100)	100.0	88.9	83.7
経営学部	経営学科	学科科目	専任担当科目数 (A)	110	20	161
			兼任担当科目数 (B)	16	0	36
			専兼比率 % (A / (A + B) *100)	87.3	100	81.7
	マーケティング学科	学科科目	専任担当科目数 (A)	78	10	137
			兼任担当科目数 (B)	0	2	28
			専兼比率 % (A / (A + B) *100)	100.0	83.3	83
心理学部	心理学科	学科科目	専任担当科目数 (A)	38	136	174
			兼任担当科目数 (B)	0	9	9
			専兼比率 % (A / (A + B) *100)	100.0	93.8	95.1
社会学部	社会学科	学科科目	専任担当科目数 (A)	30	114	149
			兼任担当科目数 (B)	0	23	25
			専兼比率 % (A / (A + B) *100)	100.0	83.2	85.6

(表3)

学部・学科				必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
国際教養学部	アジア学科 (1年次生～3年次生までに提供される教育課程)	学科科目	専任担当科目数 (A)	41	52	93
			兼任担当科目数 (B)	2	52	58
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	95.3	50.0	61.6
	英語コミュニケーション学科 (1年次生～3年次生までに提供される教育課程)	学科科目	専任担当科目数 (A)	67	38	105
			兼任担当科目数 (B)	45	8	53
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	59.8	82.6	66.5
全学科共通		共通科目	専任担当科目数 (A)	—	—	285.2
			兼任担当科目数 (B)	—	—	433.2
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	—	—	39.7
資格課程科目			専任担当科目数 (A)	—	—	51
			兼任担当科目数 (B)	—	—	20
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	—	—	71.8

- [注] 1 この表は、大学設置基準第10条にいう「教育上主要と認める授業科目」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 2 ここでいう「専任担当科目数」には、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼担科目も含めてください。
- 3 カリキュラムを改定した場合は、改定前・後、それぞれ分けて作表してください。
- 4 「専門教育」欄および「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を付してください。その場合であっても、おおよそ専門教育的な教育と教養教育的な教育に分けて記入してください。
- 5 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- 6 セメスター制を採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合はそれぞれの学期について作表してください。
- 7 同一科目を週2回実施している場合の計算方法は下記の通りです。
- ①同一講師による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1となります。
- ②複数教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5となります。
- 8 実験・実習等において兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載してください。
(例：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任0.8、兼任0.2となります)。

[追手門学院大学 注記]

1. 経済学部国際経済学科は、2005（平成17）年より経済学部ヒューマンエコノミー学科に改組している。
2. 経営学部国際経営学科は、2005（平成17）年より経営学部マーケティング学科に改組している。
3. 人間学部心理学科および社会学科は、2006（平成18）年より心理学部心理学科および社会学部社会学科にそれぞれ改組独立している。
4. 文学部アジア文化学科および英語文化学科は、2007（平成19）年より国際教養学部アジア学科および英語コミュニケーション学科にそれぞれ改組している。
5. 人間学部心理学科の教育課程は、心理学部心理学科の教育課程に組み込まれている。
6. 人間学部社会学科の教育課程は、社会学部社会学科の教育課程に組み込まれている。
7. 国際教養学部アジア学科の開設授業科目を読み替えて文学部アジア文化学科4年生に対応している。
8. 国際教養学部英語コミュニケーション学科の開設授業科目を読み替えて文学部英語文化学科4年生に対応している。

2 単位互換協定に基づく単位認定の状況

(表4)

学部・学科		認定者数 (A)	他大学		短期大学		1人当たり 平均認定 単位数 (B+C) / A
			認定単位総数 (B)		認定単位総数 (C)		
			専門科目	専門以外	専門科目	専門以外	
経済学部	経済学科	0	0	0	0	0	0
	国際経済学科	0	0	0	0	0	0
	ヒューマンエコノミー学科	1	0	8	0	0	8
計		1	0	8	0	0	8
経営学部	経営学科	0	0	0	0	0	0
	国際経営学科	0	0	0	0	0	0
	マーケティング学科	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0	0
人間学部	心理学科	0	0	0	0	0	0
	社会学科	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0	0
心理学部	心理学科	1	0	2	0	0	2
計		1	0	2	0	0	2
社会学部	社会学科	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0	0
文学部	アジア文化学科	0	0	0	0	0	0
	英語文化学科	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0	0
国際教養学部	アジア学科	0	0	0	0	0	0
	英語コミュニケーション学科	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0	0
合計		2	0	10	0	0	5.0

- [注] 1 他大学または短期大学との単位互換協定に基づき単位認定を行っているものを記載してください。
- 2 2008年度の実績を記入してください。

[追手門学院大学 注記]

1. 経済学部国際経済学科は、2005（平成17）年より経済学部ヒューマンエコノミー学科に改組している。
2. 経営学部国際経営学科は、2005（平成17）年より経営学部マーケティング学科に改組している。
3. 人間学部心理学科および社会学科は、2006（平成18）年より心理学部心理学科および社会学部社会学科にそれぞれ改組独立している。
4. 文学部アジア文化学科および英語文化学科は、2007（平成19）年より国際教養学部アジア学科および英語コミュニケーション学科にそれぞれ改組している。
5. 経済学部ヒューマンエコノミー学科1名の学生は、経済学部ヒューマンエコノミー学科の学生である。
6. 心理学部心理学科1名の学生は、心理学部心理学科の学生である。
7. 2009（平成21）年5月現在では、国際教養学部は年次進行中で在籍学生は3年生までで、文学部については在籍している4年生を対象としている。

「3 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況（表5）」
該当なし

4 卒業判定

(表6)

学部・学科		2006年度			2007年度			2008年度		
		卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100
経済学部	経済学科	282	212	75.2	300	225	75.0	294	216	73.5
	国際経済学科	216	155	71.8	205	154	75.1	27	21	77.8
	ヒューマンエコノミー学科	-	-	-	-	-	-	127	121	95.3
計		498	367	73.7	505	379	75.0	448	358	79.9
経営学部	経営学科	276	220	79.7	289	227	78.5	293	220	75.1
	国際経営学科	204	170	83.3	199	164	82.4	24	15	62.5
	マーケティング学科	-	-	-	-	-	-	197	163	82.7
計		480	390	81.3	488	391	80.1	514	398	77.4
人間学部	心理学科	214	187	87.4	182	153	84.1	200	156	78.0
	社会学科	147	130	88.4	121	107	88.4	125	105	84.0
計		361	317	87.8	303	260	85.8	325	261	80.3
文学部	アジア文化学科	194	153	78.9	151	118	78.1	167	129	77.2
	英語文化学科	164	128	78.0	157	125	79.6	171	133	77.8
計		358	281	78.5	308	243	78.9	338	262	77.5
合 計		1,697	1,355	79.8	1,604	1,273	79.4	1,625	1,279	78.7

[注] 「卒業予定者」とは、毎年度5月1日における当該学部の最終学年に在籍する学生を指します。

[追手門学院大学 注記]

1. 経済学部国際経済学科は、2005（平成17）年より経済学部ヒューマンエコノミー学科に改組している。
2. 経営学部国際経営学科は、2005（平成17）年より経営学部マーケティング学科に改組している。
3. 人間学部心理学科および社会学科は、2006（平成18）年より心理学部心理学科および社会学部社会学科にそれぞれ改組独立している。
4. 文学部アジア文化学科および英語文化学科は、2007（平成19）年より国際教養学部アジア学科および英語コミュニケーション学科にそれぞれ改組している。
5. 経済学部国際経済学科の2008年度学生数は、国際経済学科2004年度以前入学生の留年生である。
6. 経営学部国際経営学科の2008年度学生数は、国際経営学科2004年度以前入学生の留年生である。
7. 心理学部心理学科は2006年4月開設のため2008年度以前に卒業生は存在せず、全て人間学部心理学科の学生である。
8. 社会学部社会学科は2006年4月開設のため2008年度以前に卒業生は存在せず、全て人間学部社会学科の学生である。
9. 国際教養学部アジア学科は2007年4月開設のため2008年度以前に卒業生は存在せず、全て文学部アジア文化学科の学生である。
10. 国際教養学部英語コミュニケーション学科は2007年4月開設のため2008年度以前に卒業生は存在せず、全て文学部英語文化学科の学生である。

5 大学院における学位授与状況

(表7)

研究科・専攻			2004年度		2005年度		2006年度		2007年度		2008年度		備考
			修了予定者数	学位授与者数									
経済学研究科	経済学専攻	博士(前期)	9	8	13	9	6	6	10	7	4	4	
		博士(後期)	0	0	1	0	1	0	2	1	2	2	
		博士(論文)	/	0	/	0	/	0	/	0	/	0	
		専門職学位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	経営学専攻	博士(前期)	14	11	17	13	18	13	2	1	1	-	経済学研究科経営学専攻は2006(平成18)年4月1日より経営学研究科経営学専攻に改組独立している。
		博士(後期)	0	0	3	0	4	0	6	0	2	-	
		博士(論文)	/	0	/	0	/	0	/	0	-	-	
		専門職学位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
経営学研究科	経営学専攻	博士(前期)	-	-	-	-	-	-	25	20	22	21	経営学研究科経営学専攻は2006(平成18)年4月1日より経済学研究科経営学専攻から改組独立している。
		博士(後期)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
		博士(論文)	-	-	-	-	-	-	-	-	/	0	
		専門職学位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
心理学研究科	心理学専攻	修士課程	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	心理学研究科心理学専攻は2008(平成20)年4月1日より文学研究科心理学専攻から改組独立している。
		博士(課程)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		博士(論文)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		専門職学位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(表7)

研究科・専攻		2004年度		2005年度		2006年度		2007年度		2008年度		備考
		修了予定者数	学位授与者数									
文学研究科	心理学専攻	修士課程	11	9	14	13	15	13	15	14	15	文学研究科心理学専攻は2008(平成20)年4月1日より心理学研究科心理学専攻に改組独立している。
		博士(課程)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		博士(論文)	/	-	/	-	/	-	/	-	-	
		専門職学位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	社会学専攻	修士課程	2	1	2	1	0	0	0	0	1	0
		博士(課程)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		博士(論文)	/	-	/	-	/	-	/	-	/	-
		専門職学位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中国文化専攻	修士課程	6	3	3	3	3	1	2	1	2	2
		博士(課程)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		博士(論文)	/	-	/	-	/	-	/	-	/	-
		専門職学位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	英文学専攻	修士課程	3	2	2	0	3	1	3	1	2	2
		博士(課程)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		博士(論文)	/	-	/	-	/	-	/	-	/	-
		専門職学位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

[注] 1 「修了予定者」欄には、留年者も含め、当該年度修了予定の在籍学生数を記入してください。

2 当該研究科もしくは専攻、課程が最近開設され、そのために学位授与該当者がいない場合は、備考欄にその開設年月日を記載してください。

[追手門学院大学 注記]

1. 経済学研究科経営学専攻は、2006（平成18）年より経営学研究科経営学専攻に改組独立している。
2. 文学研究科心理学専攻は、2008（平成20）年より心理学研究科心理学専攻に改組独立している。
3. 経営学研究科経営学専攻は2006年4月開設のため、2006年度以前は全て経済学研究科経営学専攻の大学院生である。
4. 経営学研究科経営学専攻は2006年4月開設のため、2008年度は経済学研究科経営学専攻の大学院生である。
5. 心理学研究科心理学専攻は2008年4月開設のため2008年度以前に修了生は存在せず、全て文学研究科心理学専攻の大学院生である。

6 就職・大学院進学状況

(表8)

学部		進路		2006年度	2007年度	2008年度
経済学部	経済学科	就職	民間企業	158	174	159
			官公庁	2	6	8
			教員	0	2	0
			上記以外	0	0	0
		進学	自大学院	0	0	1
			他大学院	1	0	1
			上記以外	5	4	12
	その他		46	39	35	
	計		212	225	216	
	国際経済学科	就職	民間企業	109	100	13
			官公庁	2	7	0
			教員	0	0	0
			上記以外	0	0	0
		進学	自大学院	1	3	1
			他大学院	0	1	0
			上記以外	2	6	0
	その他		41	37	7	
	計		155	154	21	
	ヒューマンエコノミー学科	就職	民間企業	—	—	91
			官公庁	—	—	5
			教員	—	—	0
上記以外			—	—	0	
進学		自大学院	—	—	0	
		他大学院	—	—	0	
		上記以外	—	—	1	
その他		—	—	24		
計		—	—	121		
合 計			367	379	358	

[追手門学院大学 注記]

1. 経済学部国際経済学科は、2005（平成17）年度より経済学部ヒューマンエコノミー学科に改組しているため、2006（平成18）・2007（平成19）年度は国際経済学科学生のみ、2008（平成20）年度は国際経済学科の留年生およびヒューマンエコノミー学科の4年生の学生である。

(表8)

学部		進路		2006年度	2007年度	2008年度
経営学部	経営学科	就職	民間企業	167	176	158
			官公庁	1	5	3
			教員	0	0	0
			上記以外	0	0	0
		進学	自大学院	2	0	2
			他大学院	4	1	0
			上記以外	3	3	11
	その他	43	42	46		
	計	220	227	220		
	国際経営学科	就職	民間企業	112	117	8
			官公庁	2	5	1
			教員	0	1	0
			上記以外	0	0	0
		進学	自大学院	12	4	0
			他大学院	2	0	1
			上記以外	4	0	0
	その他	38	37	5		
	計	170	164	15		
	マーケティング学科	就職	民間企業	—	—	128
			官公庁	—	—	1
			教員	—	—	0
上記以外			—	—	0	
進学		自大学院	—	—	2	
		他大学院	—	—	2	
		上記以外	—	—	4	
その他	—	—	26			
計	—	—	163			
合	計	390	391	398		

[追手門学院大学 注記]

1. 経営学部国際経営学科は、2005（平成17）年度より経営学部マーケティング学科に改組しているため、2006（平成18）・2007（平成19）年度は国際経営学科学生のみ、2008（平成20）年度は国際経営学科の留年生およびマーケティング学科の4年生の学生である。

(表8)

学部		進路		2006年度	2007年度	2008年度
人間学部	心理学科	就職	民間企業	91	79	99
			官公庁	1	3	3
			教員	0	0	0
			上記以外	0	0	0
		進学	自大学院	3	5	5
			他大学院	5	5	7
			上記以外	19	10	11
	その他		68	51	31	
	計		187	153	156	
	社会学科	就職	民間企業	94	91	61
			官公庁	1	1	5
			教員	0	0	1
			上記以外	0	0	0
		進学	自大学院	0	0	1
他大学院			0	0	0	
上記以外			3	4	4	
その他		32	11	33		
計		130	107	105		
合 計		317	260	261		

[追手門学院大学 注記]

1. 人間学部心理学科および社会学科は、2006（平成18）年度より心理学部心理学科および社会学部社会学科にそれぞれ改組独立しているため、2006（平成18）年度・2007（平成19）年度・2008（平成20）年度は人間学部心理学科および社会学科の学生である。

(表8)

学部		進路		2006年度	2007年度	2008年度
文学部	アジア文化学科	就職	民間企業	103	66	80
			官公庁	1	3	2
			教員	0	0	0
			上記以外	0	0	0
		進学	自大学院	0	1	1
			他大学院	0	1	3
			上記以外	10	3	1
	その他		39	44	42	
	計		153	118	129	
	英語文化学科	就職	民間企業	91	89	94
			官公庁	1	1	2
			教員	0	0	1
			上記以外	0	0	0
		進学	自大学院	0	0	0
他大学院			1	2	0	
上記以外			3	4	5	
その他		32	29	31		
計		128	125	133		
合 計		281	243	262		

[追手門学院大学 注記]

4. 文学部アジア文化学科および英語文化学科は、2007（平成19）年より国際教養学部アジア学科および英語コミュニケーション学科にそれぞれ改組しているため、2006（平成18）年度・2007（平成19）年度・2008（平成20）は文学部アジア文化学科および英語文化学科の学生である。

[注] 1 「その他」欄には、当該学部の各年度の卒業者のうち、就職、進学のいずれにも該当しないもののすべての数を記入してください。

2 専門学校教員、日本語教師、NGO団体、国際機関等への就職については、「就職（上記以外）」の欄に記入してください。

3 専門学校への進学は、「進学（上記以外）」欄に記入してください。

[追手門学院大学 注記]

1. 経済学部国際経済学科は、2005（平成17）年より経済学部ヒューマンエコノミー学科に改組している。

2. 経営学部国際経営学科は、2005（平成17）年より経営学部マーケティング学科に改組している。

3. 人間学部心理学科および社会学科は、2006（平成18）年より心理学部心理学科および社会学部社会学科にそれぞれ改組独立している。

4. 文学部アジア文化学科および英語文化学科は、2007（平成19）年より国際教養学部アジア学科および英語コミュニケーション学科にそれぞれ改組している。

「7 国家試験合格率（表9）」
該当なし

8 公開講座の開設状況

(表10)

大学 研究	学部 科	年間開設講座数(A)			募集人員(延べ数)			参加者(延べ数)(B)			1講座当たりの 平均受講者数 B/A			備 考
		2006年度	2007年度	2008年度	2006年度	2007年度	2008年度	2006年度	2007年度	2008年度	2006年度	2007年度	2008年度	
大	学	11	13	13	110	130	130	154	302	118	14	23.2	9.1	追大プロジェクト科目 オーストラリアを学ぶ
大	学	24	24	24	1,440	1,440	1,200	907	953	394	37.8	39.7	16.4	おうてもん塾(教育後援 会)
大	学	8	5	10	280	150	310	259	143	283	32.4	28.6	28.3	市民のためのコンピュー ター講座
大	学	—	—	10	—	—	3,000	—	—	2,257	—	—	225.7	春の公開講座(2008年度春よ り教育研究所より移管)
大	学	—	5	5	—	300	500	—	329	499	—	65.8	99.8	秋の公開講座(2007年度秋よ り教育研究所より移管)
教育研究所(春)		10	10	—	1,700	2,000	—	1,334	1,545	—	133.4	154.5	—	2008年度春以降は、リエゾ ンオフィスへ業務移管
教育研究所(秋)		5	—	—	275	—	—	141	—	—	28.2	—	—	2007年度秋以降は、リエゾ ンオフィスへ業務移管
計		58	57	62	3,805	4,020	5,140	2,795	3,272	3,551	48.2	57.4	57.3	

[注] 1 ここでの公開講座とは、大学が社会人などを対象に開講する授業や、授業に匹敵する内容の講座です。

2 シンポジウム、講演会は含まないでください。

9 学生の国別国際交流

(表11)

国名 学部・研究科	イギリス			インド			中華人民共和国			オーストラリア			タイ			その他			合計			
	派	遣	受け入れ	派	遣	受け入れ	派	遣	受け入れ	派	遣	受け入れ	派	遣	受け入れ	派	遣	受け入れ	派	遣	受け入れ	
大学	0		0	0		0	0		1	0		0	0		0	0		0	0		0	1
計	0		0	0		0	0		1	0		0	0		0	0		0	0		0	1

- [注] 1 交流協定を締結している海外の大学との状況を中心に、主だった5カ国とその他に分けて記載してください。
 2 学部・大学院研究科ごとに、国別に派遣・受け入れ学生数を記入してください。
 3 2009年5月1日現在で、6カ月以上の期間を要する学生数とします。

[追手門学院大学 注記]

- 1 中華人民共和国からの受け入れ学生は、大学全体での受け入れで、受入期間は2009年4月1日～2010年3月31までの1年間です。

10 教員・研究者の国際学術研究交流

(表12)

学部・研究科等		派 遣						受 け 入 れ					
		2006年度		2007年度		2008年度		2006年度		2007年度		2008年度	
		短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期
経済学部	新規	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経営学部	新規	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心理学部	新規	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会学部	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際教養学部	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学研究科	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経営学研究科	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心理学研究科	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
文学研究科	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	新規	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- [注] 1 派遣、受け入れとも、1年未満のものを「短期」とし、それ以上を「長期」としてください。
- 2 各派遣者及び受け入れ者について、派遣及び受け入れが複数年度にわたる場合、初年度については「新規」欄に、次年度以降は「継続」欄に人数を記入してください。
- 3 旅費・滞在費等の経費負担が私費によるものも含め、全ての派遣者及び受け入れ者について記入してください。

Ⅲ 学生の受け入れ

1 学部・学科の志願者・合格者・入学者数の推移

(表13)

		入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度平均)
経済学部	経済学科	一般入試	志願者	910	902	1,003	857	908	123.8
			合格者	336	266	269	247	232	
			入学者(A)	133	98	98	99	91	
			入学定員(B)	95	93	93	93	93	
			A/B*100	140.0	105.4	105.4	106.5	97.8	
		AO入試	志願者	16	21	23	28	28	
			合格者	16	21	23	27	28	
			入学者(A)	16	21	23	27	28	
			入学定員(B)	10	10	10	10	10	
			A/B*100	160.0	210.0	230.0	270.0	280.0	
		内部推薦入試	志願者	1	7	5	2	5	
			合格者	1	7	5	2	4	
			入学者(A)	1	7	5	2	4	
			入学定員(B)	8	6	6	6	6	
			A/B*100	12.5	116.7	83.3	33.3	66.7	
		指定校推薦入試	志願者	22	34	48	49	54	
			合格者	22	34	48	49	54	
			入学者(A)	22	33	47	49	54	
	入学定員(B)		12	17	17	17	17		
	A/B*100		183.3	194.1	276.5	288.2	317.6		
	公募推薦入試	志願者	719	476	765	572	638		
		合格者	153	141	155	125	117		
		入学者(A)	87	75	86	73	52		
		入学定員(B)	69	70	70	70	70		
		A/B*100	126.1	107.1	122.9	104.3	74.3		
	社会人入試	志願者	0	0	0	0	0		
		合格者	0	0	0	0	0		
		入学者(A)	0	0	0	0	0		
		入学定員(B)	0	0	0	0	0		
		A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	留学生入試	志願者	5	9	0	3	3		
		合格者	4	2	0	2	3		
		入学者(A)	4	0	0	2	1		
		入学定員(B)	0	0	0	0	0		
		A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	帰国生徒入試	志願者	0	0	0	0	0		
		合格者	0	0	0	0	0		
		入学者(A)	0	0	0	0	0		
		入学定員(B)	0	0	0	0	0		
		A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	学科計	志願者	1,673	1,449	1,844	1,511	1,636		
		合格者	532	471	500	452	438		
入学者(A)		263	234	259	252	230			
入学定員(B)		200	200	200	200	200			
A/B*100		131.5	117.0	129.5	126.0	115.0			

[追手門学院大学 注記]

1. 各入試の入学定員数を合計しても学科合計数に満たないのは、社会人入試・留学生入試および帰国生徒入試の入学定員数を、それぞれの募集要項に「若干名」と記載しているため。

(表13)

		入試の種類	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度平均)	
経済学部	ヒューマンエコーノミー学科	一般入試	志願者	306	281	271	221	248	
			合格者	177	164	167	118	90	
			入学者(A)	86	69	80	55	48	
			入学定員(B)	56	53	53	53	53	
			A/B*100	153.6	130.2	150.9	103.8	90.6	
		A〇入試	志願者	7	10	9	10	9	
			合格者	6	10	9	9	9	
			入学者(A)	6	10	9	9	9	
			入学定員(B)	10	10	10	10	10	
			A/B*100	60.0	100.0	90.0	90.0	90.0	
		内部推薦入試	志願者	0	0	1	1	1	
			合格者	0	0	1	1	1	
			入学者(A)	0	0	1	1	1	
			入学定員(B)	3	3	3	3	3	
			A/B*100	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	
		指定校推薦入試	志願者	22	30	39	46	47	
			合格者	22	30	39	46	47	
			入学者(A)	22	30	39	46	47	
			入学定員(B)	15	15	15	15	15	
			A/B*100	146.7	200.0	260.0	306.7	313.3	
		公募推薦入試	志願者	211	126	170	133	174	
			合格者	93	82	101	84	95	
			入学者(A)	58	51	58	52	60	
			入学定員(B)	43	50	50	50	50	
			A/B*100	134.9	102.0	116.0	104.0	120.0	
		社会人入試	志願者	0	0	0	0	0	
			合格者	0	0	0	0	0	
			入学者(A)	0	0	0	0	0	
			入学定員(B)	0	0	0	0	0	
			A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		留学生入試	志願者	18	6	3	4	5	
			合格者	11	2	2	4	4	
			入学者(A)	10	1	2	4	4	
			入学定員(B)	0	0	0	0	0	
			A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		帰国生徒入試	志願者	0	1	0	0	1	
			合格者	0	1	0	0	1	
			入学者(A)	0	1	0	0	1	
			入学定員(B)	0	0	0	0	0	
			A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		学 科 計	志願者	564	454	493	415	485	
			合格者	309	289	319	262	247	
入学者(A)	182		162	189	167	170			
入学定員(B)	140		140	140	140	140			
A/B*100	130.0		115.7	135.0	119.3	121.4			
学 部 合 計	志願者	2,237	1,903	2,337	1,926	2,121			
	合格者	841	760	819	714	685			
	入学者(A)	445	396	448	419	400			
	入学定員(B)	340	340	340	340	340			
	A/B*100	130.9	116.5	131.8	123.2	117.6			
							124.3		
								124.0	

[追手門学院大学 注記]

1. 各入試の入学定員数を合計しても学科合計数に満たないのは、社会人入試・留学生入試および帰国生徒入試の入学定員数を、それぞれの募集要項に「若干名」と記載しているため。

(表13)

		入試の種類	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度平均)	
経営学部	経営学科	一般入試	志願者	1,051	903	1,002	853	810	124.4
			合格者	359	260	279	251	213	
			入学者(A)	137	85	107	110	82	
			入学定員(B)	100	98	98	98	98	
		A/B*100	137.0	86.7	109.2	112.2	83.7		
		A〇入試	志願者	20	39	46	73	30	
			合格者	20	39	42	35	27	
			入学者(A)	20	39	42	35	27	
			入学定員(B)	21	23	23	23	23	
		A/B*100	95.2	169.6	182.6	152.2	117.4		
		内部推薦入試	志願者	9	12	7	5	7	
			合格者	9	12	7	4	7	
	入学者(A)		9	12	7	3	7		
	入学定員(B)		8	8	8	8	6		
	A/B*100	112.5	150.0	87.5	37.5	116.7			
	指定校推薦入試	志願者	27	59	51	52	50		
		合格者	27	59	51	52	50		
		入学者(A)	27	59	50	51	50		
		入学定員(B)	12	12	12	12	15		
	A/B*100	225.0	491.7	416.7	425.0	333.3			
	公募推薦入試	志願者	525	522	500	484	503		
		合格者	119	91	107	103	107		
		入学者(A)	67	42	53	54	55		
		入学定員(B)	55	55	55	55	55		
	A/B*100	121.8	76.4	96.4	98.2	100.0			
	社会人入試	志願者	1	0	0	0	0		
		合格者	1	0	0	0	0		
		入学者(A)	0	0	0	0	0		
		入学定員(B)	0	0	0	0	0		
	A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	留学生入試	志願者	11	13	11	7	8		
		合格者	4	2	6	2	3		
		入学者(A)	4	2	6	0	2		
		入学定員(B)	0	0	0	0	0		
	A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	帰国生徒入試	志願者	0	0	0	0	1		
		合格者	0	0	0	0	1		
		入学者(A)	0	0	0	0	0		
		入学定員(B)	0	0	0	0	0		
	A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	学科計	志願者	1,644	1,548	1,617	1,474	1,409		
		合格者	539	463	492	447	408		
入学者(A)		264	239	265	253	223			
入学定員(B)		200	200	200	200	200			
A/B*100	132.0	119.5	132.5	126.5	111.5				

[追手門学院大学 注記]

1. 各入試の入学定員数を合計しても学科合計数に満たないのは、社会人入試・留学生入試および帰国生徒入試の入学定員数を、それぞれの募集要項に「若干名」と記載しているため。

(表13)

		入試の種類	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度平均)	
経営学部	マーケティング学科	一般入試	志願者	456	384	315	408	343	
			合格者	208	161	152	163	148	
			入学者(A)	93	67	57	67	74	
			入学定員(B)	72	69	69	70	93	
		A/B*100	129.2	97.1	82.6	95.7	79.6		
		A〇入試	志願者	13	31	29	50	29	
			合格者	11	31	28	28	29	
			入学者(A)	11	31	28	28	29	
			入学定員(B)	18	21	21	23	23	
		A/B*100	61.1	147.6	133.3	121.7	126.1		
内部推薦入試	志願者	10	7	8	10	14			
	合格者	9	7	8	10	14			
	入学者(A)	9	7	8	10	13			
	入学定員(B)	6	6	6	6	6			
A/B*100	150.0	116.7	133.3	166.7	216.7				
指定校推薦入試	志願者	34	55	54	52	56			
	合格者	34	55	54	52	56			
	入学者(A)	34	55	54	52	56			
	入学定員(B)	15	15	15	15	15			
A/B*100	226.7	366.7	360.0	346.7	373.3				
公募推薦入試	志願者	229	234	171	322	244			
	合格者	82	76	93	78	82			
	入学者(A)	50	41	54	52	54			
	入学定員(B)	47	47	47	47	55			
A/B*100	106.4	87.2	114.9	110.6	98.2				
社会人入試	志願者	0	0	0	0	0			
	合格者	0	0	0	0	0			
	入学者(A)	0	0	0	0	0			
	入学定員(B)	0	0	0	0	0			
A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
留学生入試	志願者	37	43	16	19	20			
	合格者	15	13	12	8	13			
	入学者(A)	13	12	12	7	11			
	入学定員(B)	0	0	0	0	0			
A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
帰国生徒入試	志願者	0	1	2	2	1			
	合格者	0	1	2	2	1			
	入学者(A)	0	1	2	2	1			
	入学定員(B)	0	0	0	0	0			
A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
学 科 計	志願者	779	755	595	863	707			
	合格者	359	344	349	341	343			
	入学者(A)	210	214	215	218	238			
	入学定員(B)	170	170	170	170	200			
A/B*100	123.5	125.9	126.5	128.2	119.0				
学 部 合 計	志願者	2,423	2,303	2,212	2,337	2,116			
	合格者	898	807	841	788	751			
	入学者(A)	474	453	480	471	461			
	入学定員(B)	370	370	370	370	400			
A/B*100	128.1	122.4	129.7	127.3	115.3				

[追手門学院大学 注記]

2. 各入試の入学定員数を合計しても学科合計数に満たないのは、社会人入試・留学生入試および帰国生徒入試の入学定員数を、それぞれの募集要項に「若干名」と記載しているため。

(表13)

		入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度平均)
人間学部	心理学	一般入試	志願者	908	-	-	-	-	131.1
			合格者	248	-	-	-	-	
			入学者(A)	102	-	-	-	-	
			入学定員(B)	80	-	-	-	-	
			A/B*100	127.5	-	-	-	-	
		A〇入試	志願者	-	-	-	-	-	
			合格者	-	-	-	-	-	
			入学者(A)	-	-	-	-	-	
			入学定員(B)	-	-	-	-	-	
			A/B*100	-	-	-	-	-	
		内部推薦入試	志願者	14	-	-	-	-	
			合格者	14	-	-	-	-	
			入学者(A)	14	-	-	-	-	
			入学定員(B)	5	-	-	-	-	
			A/B*100	280.0	-	-	-	-	
		指定校推薦入試	志願者	-	-	-	-	-	
			合格者	-	-	-	-	-	
			入学者(A)	-	-	-	-	-	
			入学定員(B)	-	-	-	-	-	
			A/B*100	-	-	-	-	-	
		公募推薦入試	志願者	524	-	-	-	-	
			合格者	81	-	-	-	-	
			入学者(A)	55	-	-	-	-	
			入学定員(B)	38	-	-	-	-	
	A/B*100		144.7	-	-	-	-		
	社会人入試	志願者	3	-	-	-	-		
		合格者	1	-	-	-	-		
		入学者(A)	1	-	-	-	-		
		入学定員(B)	0	-	-	-	-		
		A/B*100	0.0	-	-	-	-		
	留学生入試	志願者	4	-	-	-	-		
		合格者	1	-	-	-	-		
		入学者(A)	1	-	-	-	-		
入学定員(B)		0	-	-	-	-			
A/B*100		0.0	-	-	-	-			
帰国生徒入試	志願者	5	-	-	-	-			
	合格者	4	-	-	-	-			
	入学者(A)	4	-	-	-	-			
	入学定員(B)	0	-	-	-	-			
	A/B*100	0.0	-	-	-	-			
学科計	志願者	1,458	-	-	-	-			
	合格者	349	-	-	-	-			
	入学者(A)	177	-	-	-	-			
	入学定員(B)	135	-	-	-	-			
	A/B*100	131.1	-	-	-	-			

[追手門学院大学 注記]

- 人間学部心理学科および社会学科は、2006（平成18）年度より心理学部心理学科および社会学部社会学科にそれぞれ改組独立している。
- 各入試の入学定員数を合計しても学科合計数に満たないのは、社会人入試・留学生入試および帰国生徒入試の入学定員数を、それぞれの募集要項に「若干名」と記載しているため。

(表13)

		入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度平均)
人間学部	社会科学部	一般入試	志願者	439	-	-	-	-	
			合格者	229	-	-	-	-	
			入学者(A)	82	-	-	-	-	
			入学定員(B)	56	-	-	-	-	
		A/B*100	146.4	-	-	-	-		
		A〇入試	志願者	-	-	-	-	-	
			合格者	-	-	-	-	-	
			入学者(A)	-	-	-	-	-	
			入学定員(B)	-	-	-	-	-	
		A/B*100	-	-	-	-	-		
		内部推薦入試	志願者	8	-	-	-	-	
			合格者	8	-	-	-	-	
			入学者(A)	8	-	-	-	-	
			入学定員(B)	5	-	-	-	-	
		A/B*100	160.0	-	-	-	-		
		指定校推薦入試	志願者	-	-	-	-	-	
			合格者	-	-	-	-	-	
			入学者(A)	-	-	-	-	-	
			入学定員(B)	-	-	-	-	-	
		A/B*100	-	-	-	-	-		
		公募推薦入試	志願者	222	-	-	-	-	
			合格者	58	-	-	-	-	
			入学者(A)	35	-	-	-	-	
			入学定員(B)	31	-	-	-	-	
	A/B*100	112.9	-	-	-	-			
	社会人入試	志願者	0	-	-	-	-		
		合格者	0	-	-	-	-		
		入学者(A)	0	-	-	-	-		
		入学定員(B)	0	-	-	-	-		
	A/B*100	0.0	-	-	-	-			
	留学生入試	志願者	3	-	-	-	-		
		合格者	1	-	-	-	-		
入学者(A)		1	-	-	-	-			
入学定員(B)		0	-	-	-	-			
A/B*100	0.0	-	-	-	-				
帰国生徒入試	志願者	0	-	-	-	-			
	合格者	0	-	-	-	-			
	入学者(A)	0	-	-	-	-			
	入学定員(B)	0	-	-	-	-			
A/B*100	0.0	-	-	-	-				
学科計	志願者	672	-	-	-	-			
	合格者	296	-	-	-	-			
	入学者(A)	126	-	-	-	-			
	入学定員(B)	95	-	-	-	-			
A/B*100	132.6	-	-	-	-				
学部合計	志願者	2,130	-	-	-	-			
	合格者	645	-	-	-	-			
	入学者(A)	303	-	-	-	-			
	入学定員(B)	230	-	-	-	-			
A/B*100	131.7	-	-	-	-				

[追手門学院大学 注記]

- 人間学部心理学科および社会科学部は、2006（平成18）年度より心理学部心理学科および社会学部社会科学部にそれぞれ改組独立している。
- 各入試の入学定員数を合計しても学科合計数に満たないのは、社会人入試・留学生入試および帰国生徒入試の入学定員数を、それぞれの募集要項に「若干名」と記載しているため。

(表13)

		入試の種類	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度平均)		
心理 学部	心理 学科	一般入試	志願者	-	1,036	1,000	869	930	121.0	
			合格者	-	295	250	252	249		
			入学者(A)	-	130	107	111	126		
			入学定員(B)	-	111	105	104	105		
			A/B*100	-	117.1	101.9	106.7	120.0		
		A○入試	志願者	-	-	-	-	-		-
			合格者	-	-	-	-	-		-
			入学者(A)	-	-	-	-	-		-
			入学定員(B)	-	-	-	-	-		-
			A/B*100	-	-	-	-	-		-
		内部推薦入試	志願者	-	17	17	14	9		
			合格者	-	17	17	14	9		
			入学者(A)	-	17	17	14	8		
			入学定員(B)	-	7	7	8	9		
			A/B*100	-	242.9	242.9	175.0	88.9		
		指定校推薦入試	志願者	-	19	22	22	26		
			合格者	-	19	22	22	26		
			入学者(A)	-	19	22	22	26		
			入学定員(B)	-	12	15	18	8		
			A/B*100	-	158.3	146.7	122.2	325.0		
		公募推薦入試	志願者	-	628	639	657	703		
	合格者		-	104	114	112	121			
	入学者(A)		-	70	87	88	89			
	入学定員(B)		-	57	62	61	68			
	A/B*100		-	122.8	140.3	144.3	130.9			
	社会人入試	志願者	-	3	3	3	2			
		合格者	-	2	2	2	0			
		入学者(A)	-	1	1	1	0			
		入学定員(B)	-	0	0	0	0			
		A/B*100	-	0.0	0.0	0.0	0.0			
	留学生入試	志願者	-	7	2	4	1			
		合格者	-	2	1	2	0			
		入学者(A)	-	2	0	2	0			
入学定員(B)		-	0	0	0	0				
A/B*100		-	0.0	0.0	0.0	0.0				
帰国生徒入試	志願者	-	4	6	0	0				
	合格者	-	4	6	0	0				
	入学者(A)	-	4	4	0	0				
	入学定員(B)	-	0	0	0	0				
	A/B*100	-	0.0	0.0	0.0	0.0				
学部合計		志願者	-	1,714	1,689	1,569	1,671	121.0		
		合格者	-	443	412	404	405			
		入学者(A)	-	243	238	238	249			
		入学定員(B)	-	200	200	200	200			
		A/B*100	-	121.5	119.0	119.0	124.5			

[追手門学院大学 注記]

- 人間学部心理学科および社会学科は、2006（平成18）年度より心理学部心理学科および社会学部社会学科にそれぞれ改組独立している。
- 各入試の入学定員数を合計しても学科合計数に満たないのは、社会人入試・留学生入試および帰国生徒入試の入学定員数を、それぞれの募集要項に「若干名」と記載しているため。

(表13)

		入試の種類	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度平均)	
社会学部	社会学科	一般入試	志願者	-	608	570	590	539	
			合格者	-	219	268	232	203	
			入学者(A)	-	72	89	87	79	
			入学定員(B)	-	69	69	68	68	
			A/B*100	-	104.3	129.0	127.9	116.2	
		A〇入試	志願者	-	7	12	16	16	
			合格者	-	7	10	13	10	
			入学者(A)	-	6	10	13	9	
			入学定員(B)	-	10	10	10	10	
			A/B*100	-	60.0	100.0	130.0	90.0	
		内部推薦入試	志願者	-	8	2	6	2	
			合格者	-	8	2	6	2	
			入学者(A)	-	8	2	6	1	
			入学定員(B)	-	5	5	5	5	
			A/B*100	-	160.0	40.0	120.0	20.0	
		指定校推薦入試	志願者	-	30	27	28	27	
			合格者	-	30	27	28	27	
			入学者(A)	-	30	27	27	27	
			入学定員(B)	-	8	8	9	9	
			A/B*100	-	375.0	337.5	300.0	300.0	
	公募推薦入試	志願者	-	331	337	326	402		
		合格者	-	88	94	105	110		
		入学者(A)	-	62	50	55	68		
		入学定員(B)	-	55	55	55	55		
		A/B*100	-	112.7	90.9	100.0	123.6		
	社会人入試	志願者	-	0	0	0	0		
		合格者	-	0	0	0	0		
		入学者(A)	-	0	0	0	0		
		入学定員(B)	-	0	0	0	0		
		A/B*100	-	0.0	0.0	0.0	0.0		
	留学生入試	志願者	-	1	2	2	2		
		合格者	-	1	1	1	1		
入学者(A)		-	0	1	1	1			
入学定員(B)		-	0	0	0	0			
A/B*100		-	0.0	0.0	0.0	0.0			
帰国生徒入試	志願者	-	1	0	0	1			
	合格者	-	1	0	0	1			
	入学者(A)	-	0	0	0	0			
	入学定員(B)	-	0	0	0	0			
	A/B*100	-	0.0	0.0	0.0	0.0			
学部合計	志願者	-	986	950	968	989	121.8		
	合格者	-	354	402	385	354			
	入学者(A)	-	178	179	189	185			
	入学定員(B)	-	150	150	150	150			
	A/B*100	-	118.7	119.3	126.0	123.3			

[追手門学院大学 注記]

- 人間学部心理学科および社会学科は、2006（平成18）年度より心理学部心理学科および社会学部社会学科にそれぞれ改組独立している。
- 各入試の入学定員数を合計しても学科合計数に満たないのは、社会人入試・留学生入試および帰国生徒入試の入学定員数を、それぞれの募集要項に「若干名」と記載しているため。

(表13)

		入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度平均)
文 学 部	ア ジ ア 学 科	一般入試	志願者	252	236	-	-	-	
			合格者	182	113	-	-	-	
			入学者(A)	63	47	-	-	-	
			入学定員(B)	48	39	-	-	-	
		A/B*100	131.3	120.5	-	-	-		
		A O入試	志願者	5	5	-	-	-	
			合格者	5	4	-	-	-	
			入学者(A)	5	4	-	-	-	
			入学定員(B)	6	5	-	-	-	
		A/B*100	83.3	80.0	-	-	-		
		内部推薦入試	志願者	6	3	-	-	-	
			合格者	6	3	-	-	-	
	入学者(A)		6	3	-	-	-		
	入学定員(B)		2	2	-	-	-		
	A/B*100	300.0	150.0	-	-	-			
	指定校推薦入試	志願者	24	26	-	-	-		
		合格者	24	26	-	-	-		
		入学者(A)	22	26	-	-	-		
		入学定員(B)	15	13	-	-	-		
	A/B*100	146.7	200.0	-	-	-			
	公募推薦入試	志願者	139	129	-	-	-		
		合格者	75	64	-	-	-		
		入学者(A)	49	41	-	-	-		
		入学定員(B)	43	35	-	-	-		
	A/B*100	114.0	117.1	-	-	-			
	社会人入試	志願者	0	0	-	-	-		
		合格者	0	0	-	-	-		
		入学者(A)	0	0	-	-	-		
		入学定員(B)	0	0	-	-	-		
	A/B*100	0.0	0.0	-	-	-			
	留学生入試	志願者	9	13	-	-	-		
		合格者	7	11	-	-	-		
		入学者(A)	5	9	-	-	-		
入学定員(B)		0	0	-	-	-			
A/B*100	0.0	0.0	-	-	-				
帰国生徒入試	志願者	2	2	-	-	-			
	合格者	2	2	-	-	-			
	入学者(A)	2	1	-	-	-			
	入学定員(B)	0	0	-	-	-			
A/B*100	0.0	0.0	-	-	-				
学 科 計	志願者	437	414	-	-	-			
	合格者	301	223	-	-	-			
	入学者(A)	152	131	-	-	-			
	入学定員(B)	120	100	-	-	-			
	A/B*100	126.7	131.0	-	-	-			
									128.9

[追手門学院大学 注記]

1. 文学部アジア文化学科および英語文化学科は、2007（平成19）年度より国際教養学部アジア学科および英語コミュニケーション学科に改組している。
2. 各入試の入学定員数を合計しても学科合計数に満たないのは、社会人入試・留学生入試および帰国生徒入試の入学定員数を、それぞれの募集要項に「若干名」と記載しているため。

(表13)

		入試の種類	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度平均)
文 学 部	英 語 文 化 学 科	一般入試	志願者	389	318	-	-	-
			合格者	182	178	-	-	-
			入学者(A)	66	58	-	-	-
			入学定員(B)	50	48	-	-	-
		A/B*100	132.0	120.8	-	-	-	
		A○入試	志願者	6	8	-	-	-
			合格者	6	8	-	-	-
			入学者(A)	6	8	-	-	-
			入学定員(B)	3	3	-	-	-
		A/B*100	200.0	266.7	-	-	-	
		内部推薦入試	志願者	2	0	-	-	-
			合格者	2	0	-	-	-
			入学者(A)	2	0	-	-	-
			入学定員(B)	3	3	-	-	-
		A/B*100	66.7	0.0	-	-	-	
		指定校推薦入試	志願者	28	27	-	-	-
			合格者	28	27	-	-	-
			入学者(A)	28	27	-	-	-
			入学定員(B)	15	15	-	-	-
		A/B*100	186.7	180.0	-	-	-	
		公募推薦入試	志願者	287	222	-	-	-
			合格者	75	74	-	-	-
			入学者(A)	41	29	-	-	-
			入学定員(B)	35	37	-	-	-
		A/B*100	117.1	78.4	-	-	-	
		社会人入試	志願者	0	0	-	-	-
			合格者	0	0	-	-	-
			入学者(A)	0	0	-	-	-
入学定員(B)	0		0	-	-	-		
A/B*100	0.0	0.0	-	-	-			
留学生入試	志願者	2	0	-	-	-		
	合格者	1	0	-	-	-		
	入学者(A)	1	0	-	-	-		
	入学定員(B)	0	0	-	-	-		
A/B*100	0.0	0.0	-	-	-			
帰国生徒入試	志願者	1	2	-	-	-		
	合格者	1	1	-	-	-		
	入学者(A)	1	1	-	-	-		
	入学定員(B)	0	0	-	-	-		
A/B*100	0.0	0.0	-	-	-			
学 科 計	志願者	715	577	-	-	-		
	合格者	295	288	-	-	-		
	入学者(A)	145	123	-	-	-		
	入学定員(B)	110	110	-	-	-		
A/B*100	131.8	111.8	-	-	-			
学 部 合 計	志願者	1,152	991	-	-	-		
	合格者	596	511	-	-	-		
	入学者(A)	297	254	-	-	-		
	入学定員(B)	230	210	-	-	-		
A/B*100	129.1	121.0	-	-	-			

[追手門学院大学 注記]

1. 文学部アジア文化学科および英語文化学科は、2007（平成19）年度より国際教養学部アジア学科および英語コミュニケーション学科に改組している。
2. 各入試の入学定員数を合計しても学科合計数に満たないのは、社会人入試・留学生入試および帰国生徒入試の入学定員数を、それぞれの募集要項に「若干名」と記載しているため。

(表13)

		入試の種類	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度平均)	
国際 教養 学部	ア ジ ア 学 科	一般入試	志願者	-	-	156	202	161	121.3
			合格者	-	-	109	99	120	
			入学者(A)	-	-	51	37	64	
			入学定員(B)	-	-	39	39	39	
		A/B*100	-	-	130.8	94.9	164.1		
		A○入試	志願者	-	-	6	4	5	
			合格者	-	-	6	4	4	
			入学者(A)	-	-	6	4	4	
			入学定員(B)	-	-	5	5	5	
		A/B*100	-	-	120.0	80.0	80.0		
		内部推薦入試	志願者	-	-	1	2	0	
			合格者	-	-	1	2	0	
			入学者(A)	-	-	1	2	0	
			入学定員(B)	-	-	2	2	2	
		A/B*100	-	-	50.0	100.0	0.0		
		指定校推薦入試	志願者	-	-	15	24	16	
			合格者	-	-	15	24	16	
			入学者(A)	-	-	15	24	16	
			入学定員(B)	-	-	13	13	13	
		A/B*100	-	-	115.4	184.6	123.1		
		公募推薦入試	志願者	-	-	107	117	117	
			合格者	-	-	68	61	73	
			入学者(A)	-	-	48	41	36	
			入学定員(B)	-	-	35	35	35	
		A/B*100	-	-	137.1	117.1	102.9		
		社会人入試	志願者	-	-	0	0	0	
			合格者	-	-	0	0	0	
			入学者(A)	-	-	0	0	0	
			入学定員(B)	-	-	0	0	0	
		A/B*100	-	-	0.0	0.0	0.0		
		留学生入試	志願者	-	-	7	4	4	
			合格者	-	-	5	4	3	
			入学者(A)	-	-	5	4	3	
			入学定員(B)	-	-	0	0	0	
		A/B*100	-	-	0.0	0.0	0.0		
		帰国生徒入試	志願者	-	-	0	3	2	
合格者	-		-	0	3	2			
入学者(A)	-		-	0	2	1			
入学定員(B)	-		-	0	0	0			
A/B*100	-	-	0.0	0.0	0.0				
学 科 計	志願者	-	-	292	356	305			
	合格者	-	-	204	197	218			
	入学者(A)	-	-	126	114	124			
	入学定員(B)	-	-	100	100	100			
A/B*100	-	-	126.0	114.0	124.0				

[追手門学院大学 注記]

1. 文学部アジア文化学科および英語文化学科は、2007（平成19）年度より国際教養学部アジア学科および英語コミュニケーション学科に改組している。
2. 各入試の入学定員数を合計しても学科合計数に満たないのは、社会人入試・留学生入試および帰国生徒入試の入学定員数を、それぞれの募集要項に「若干名」と記載しているため。

(表13)

		入試の種類	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度平均)	
国際教養学部	英語コミュニケーション学科	一般入試	志願者	-	-	331	276	238	
			合格者	-	-	166	131	118	
			入学者(A)	-	-	65	45	54	
			入学定員(B)	-	-	56	54	54	
		A/B*100	-	-	116.1	83.3	100.0		
		A〇入試	志願者	-	-	11	17	18	
			合格者	-	-	11	17	17	
			入学者(A)	-	-	11	17	17	
			入学定員(B)	-	-	5	7	8	
		A/B*100	-	-	220.0	242.9	212.5		
		内部推薦入試	志願者	-	-	2	3	3	
			合格者	-	-	2	3	3	
			入学者(A)	-	-	2	3	3	
			入学定員(B)	-	-	3	3	3	
		A/B*100	-	-	66.7	100.0	100.0		
		指定校推薦入試	志願者	-	-	25	40	32	
			合格者	-	-	25	40	32	
			入学者(A)	-	-	25	39	32	
			入学定員(B)	-	-	15	15	15	
		A/B*100	-	-	166.7	260.0	213.3		
		公募推薦入試	志願者	-	-	268	329	258	
			合格者	-	-	135	97	102	
			入学者(A)	-	-	67	44	48	
			入学定員(B)	-	-	47	47	47	
	A/B*100	-	-	142.6	93.6	102.1			
	社会人入試	志願者	-	-	0	0	1		
		合格者	-	-	0	0	1		
		入学者(A)	-	-	0	0	0		
		入学定員(B)	-	-	0	0	0		
	A/B*100	-	-	0.0	0.0	0.0			
	留学生入試	志願者	-	-	0	0	2		
		合格者	-	-	0	0	1		
入学者(A)		-	-	0	0	1			
入学定員(B)		-	-	0	0	0			
A/B*100	-	-	0.0	0.0	0.0				
帰国生徒入試	志願者	-	-	3	2	5			
	合格者	-	-	3	2	5			
	入学者(A)	-	-	3	1	2			
	入学定員(B)	-	-	0	0	0			
A/B*100	-	-	0.0	0.0	0.0				
学 科 計	志願者	-	-	640	667	557			
	合格者	-	-	342	290	279			
	入学者(A)	-	-	173	149	157			
	入学定員(B)	-	-	130	130	130			
A/B*100	-	-	133.1	114.6	120.8				
学 部 合 計	志願者	-	-	932	1,023	862			
	合格者	-	-	546	487	497			
	入学者(A)	-	-	299	263	281			
	入学定員(B)	-	-	230	230	230			
A/B*100	-	-	130.0	114.3	122.2				
大 学 合 計	志願者	7,942	7,897	8,120	7,823	7,759			
	合格者	2,980	2,875	3,020	2,778	2,692			
	入学者(A)	1,519	1,524	1,644	1,580	1,576			
	入学定員(B)	1,170	1,270	1,290	1,290	1,320			
A/B*100	129.8	120.0	127.4	122.5	119.4				

[追手門学院大学 注記]

1. 文学部アジア文化学科および英語文化学科は、2007（平成19）年度より国際教養学部アジア学科および英語コミュニケーション学科に改組している。
2. 各入試の入学定員数を合計しても学科合計数に満たないのは、社会人入試・留学生入試および帰国生徒入試の入学定員数を、それぞれの募集要項に「若干名」と記載しているため。

- [注] 1 「編入学試験」は、この表には記入しないでください。
- 2 「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。
- 3 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を（ ）内に記入してください。ただし、相当数の学生（約一割以上）を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。
- 4 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。
- 5 学部が複数学科で構成されている場合は、「学部合計」欄を設けて各学科の「計」欄の総数を「志願者」「合格者」「入学者」「入学定員」ごとに記入してください。また、学科内に専攻等を設け、その専攻等ごとに入学定員を設定している場合は、専攻等ごとに作表してください。複数学部を設置している大学の場合は、「大学合計」欄を設け、「学部合計」と同様に記入してください。
- 6 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。
- 7 5カ年の「入学定員に対する入学者」の割合を合計し、5で除した数値を「入学定員に対する入学者数の比率（2005～2009年度平均）」欄に記入してください。
- 8 「留学生入試」に交換留学生は含めないでください。
- 9 各入学（募集）定員が若干名の場合は「0」として記入してください。

[追手門学院大学 注記]

1. 経済学部国際経済学科は、2005（平成17）年より経済学部ヒューマンエコノミー学科に改組している。
2. 経営学部国際経営学科は、2005（平成17）年より経営学部マーケティング学科に改組している。
3. 人間学部心理学科および社会学科は、2006（平成18）年より心理学部心理学科および社会学部社会学科にそれぞれ改組独立している。
4. 文学部アジア文化学科および英語文化学科は、2007（平成19）年より国際教養学部アジア学科および英語コミュニケーション学科にそれぞれ改組している。
5. 心理学部心理学科は2006年4月開設のため、2005年度は人間学部心理学科の学生である。
6. 社会学部社会学科は2006年4月開設のため、2005年度は人間学部社会学科の学生である。
7. 国際教養学部アジア学科は2007年4月開設のため、2006年度以前は文学部アジア文化学科の学生である。
8. 国際教養学部英語コミュニケーション学科は2007年4月開設のため、2006年度以前は文学部英語文化学科の学生である。

2 学部・学科の学生定員及び在籍学生数

(表14)

学 部	学 科	入 学 員	編 入 定 員	収容定員		在籍学生数		B/A	D/C	在 籍 学 生 数								備 考
				総 数 (A)	うち 編入 学生数 (C)	総 数 (B)	うち 編入 学生数 (D)			第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
										学生数	留年者数 (内数)	学生数	留年者数 (内数)	学生数	留年者数 (内数)	学生数	留年者数 (内数)	
経済学部	経済学科	200	5	810	10	1,005	9	1.24	0.90	230	0	247	0	243	0	285	66	3年次編入
	国際経済学科	—	—	—	—	12	0	—	—	—	—	—	—	—	—	12	12	国際経済学科は、2005（平成17）年度より ヒューマンエコノミー学科に改組している。
	ヒューマンエコノミー学科	140	5	570	10	701	10	1.23	1.00	170	0	167	0	181	0	183	31	3年次編入
計		340	10	1,380	20	1,718	19	1.24	0.95	400	0	414	0	424	0	480	109	
経営学部	経営学科	200	7	814	14	1,015	21	1.25	1.50	223	0	248	0	254	0	290	61	3年次編入
	国際経営学科	—	—	—	—	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	4	4	国際経営学科は、2005（平成17）年度より マーケティング学科に改組している。
	マーケティング学科	200	6	722	12	895	14	1.24	1.17	238	0	215	0	207	0	235	31	2009年度より170名→200名へ定員 変更している。「3年次編入」
計		400	13	1,536	26	1,914	35	1.25	1.35	461	0	463	0	461	0	529	96	
人間学部	心理学科	—	—	—	—	33	0	—	—	—	—	—	—	—	—	33	33	人間学部心理学科および社会学科は、2006 （平成18）年度より心理学部心理学科およ び社会学部社会学科にそれぞれ改組独立し ている。
	社会学科	—	—	—	—	15	0	—	—	—	—	—	—	—	—	15	15	
計		—	—	—	—	48	0	—	—	—	—	—	—	—	—	48	48	
心理学部	心理学科	200	10	820	20	956	10	1.17	0.50	249	0	237	0	238	0	232	0	3年次編入
計		200	10	820	20	956	10	1.17	0.50	249	0	237	0	238	0	232	0	
社会学部	社会学科	150	7	614	14	718	5	1.17	0.36	185	0	186	0	177	0	170	0	3年次編入
計		150	7	614	14	718	5	1.17	0.36	185	0	186	0	177	0	170	0	
文学部	アジア文化学科	—	—	105	5	144	0	1.37	0	—	—	—	—	—	—	144	30	文学部アジア文化学科および英語文化 学科は、2007（平成19）年度より国際 教養学部アジア学科および英語コミュニ ケーション学科に改組している。「3年次編入」
	英語文化学科	—	—	115	5	152	6	1.32	1.20	—	—	—	—	—	—	152	32	
計		—	—	220	10	296	6	1.35	0.60	—	—	—	—	—	—	296	62	
国際教養学部	アジア学科	100	5	305	5	348	0	1.14	0.00	124	0	107	0	117	0	—	—	3年次編入
	英語コミュニケーション学科	130	5	395	5	460	4	1.16	0.80	157	0	145	0	158	0	—	—	3年次編入
計		230	10	700	10	808	4	1.15	0.40	281	0	252	0	275	0	—	—	
合 計		1,320	50	5,270	100	6,458	79	1.23	0.79	1,576	0	1,552	0	1,575	0	1,755	315	

- [注] 1 昼夜開講制をとっている学部については、昼間主コースと夜間主コースにそれぞれ分けて記入してください。
- 2 収容定員は、定員変更などにより、現在の入学定員の4倍（6年制の学部は6倍）ではない場合がありますので、該当する年度ごとの入学定員、編入定員に注意してください。
- 3 現在の在籍学生に関わる入学定員及び編入定員に変更があった場合には、「備考」欄に注記してください。
- 4 修業年限を6年とする学部・学科の場合には、第6年次まで作表してください。
- 5 編入定員を設定している場合は、備考欄にその受け入れ年次を記入してください。
- 6 「B/A」及び「D/C」欄については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示してください。
- 7 通信教育課程、専攻科、別科等についても学部の表に準じて作成してください。

[追手門学院大学 注記]

1. 経済学部国際経済学科は、2005（平成17）年より経済学部ヒューマンエコノミー学科に改組している。
2. 経営学部国際経営学科は、2005（平成17）年より経営学部マーケティング学科に改組している。
3. 人間学部心理学科および社会学科は、2006（平成18）年より心理学部心理学科および社会学部社会学科にそれぞれ改組独立している。
4. 文学部アジア文化学科および英語文化学科は、2007（平成19）年より国際教養学部アジア学科および英語コミュニケーション学科にそれぞれ改組している。
5. 経済学部国際経済学科の4年次（留年者数）は、2004年度以前の国際経済学科の学生である。
6. 経営学部国際経営学科の4年次（留年者数）は、2004年度以前の国際経営学科の学生である。
7. 人間学部心理学科の4年次（留年者数）は、2005年度以前の人間学部心理学科の学生である。
8. 人間学部社会学科の4年次（留年者数）は、2005年度以前の人間学部社会学科の学生である。
9. 文学部アジア文化学科の4年次学生数は、2006年度入学の文学部アジア文化学科第4年次生で、留年者数は2005年度以前入学の文学部アジア文化学科の学生である。
10. 文学部英語文化学科の4年次学生数は、2006年度入学の文学部英語文化学科第4年次生で、留年者数は2005年度以前入学の文学部英語文化学科の学生である。
11. 国際教養学部アジア学科は、2009年5月現在年次進行中で在籍学生は3年次生までで、4年次生は在籍していない。
12. 国際教養学部英語コミュニケーション学科は、2009年5月現在年次進行中で在籍学生は3年次生までで、4年次生は在籍していない。

3 学部の入学者の構成

(表15)

学 部	学 科		入 学 者 数								備 考	
			一般入試	A0入試	内部推薦入試	指定校推薦入試	公募推薦入試	社会人入試	留学生入試	帰国生徒入試		計
経済学部	経済学科	募集定員	93	10	6	17	70	0	0	0	200	
		入学者数	91	28	4	54	52	0	1	0	230	
		計に対する割合	(39.6%)	(12.2%)	(1.7%)	(23.5%)	(22.6%)	%	(0.4%)	%	100.0%	
	ヒューマンエコノミー学科	募集定員	53	10	3	15	50	0	0	0	140	
		入学者数	48	9	1	47	60	0	4	1	170	
		計に対する割合	(28.2%)	(5.3%)	(0.6%)	(27.6%)	(35.3%)	%	(2.4%)	(0.6%)	100.0%	
合 計		募集定員	146	20	9	32	120	0	0	0	340	
		入学者数	139	37	5	101	112	0	5	1	400	
		計に対する割合	(34.8%)	(9.3%)	(1.3%)	(25.3%)	(28.0%)	%	(1.3%)	(0.3%)	100.0%	
経営学部	経営学科	募集定員	98	23	6	15	55	0	0	0	200	
		入学者数	82	27	7	50	55	0	2	0	223	
		計に対する割合	(36.8%)	(12.1%)	(3.1%)	(22.4%)	(24.7%)	%	(0.9%)	%	100.0%	
	マーケティング学科	募集定員	93	23	6	15	55	0	0	0	200	
		入学者数	74	29	13	56	54	0	11	1	238	
		計に対する割合	(31.1%)	(12.2%)	(5.5%)	(23.5%)	(22.7%)	%	(4.6%)	(0.4%)	100.0%	
合 計		募集定員	191	46	12	30	110	0	0	0	400	
		入学者数	156	56	20	106	109	0	13	1	461	
		計に対する割合	(33.8%)	(12.1%)	(4.3%)	(23.0%)	(23.6%)	%	(2.8%)	(0.2%)	100.0%	
心理学部	心理学科	募集定員	105	—	9	8	68	0	0	0	200	
		入学者数	126	—	8	26	89	0	0	0	249	
		計に対する割合	(50.6%)	%	(3.2%)	(10.4%)	(35.7%)	%	%	%	100.0%	
合 計		募集定員	105	—	9	8	68	0	0	0	200	
		入学者数	126	—	8	26	89	0	0	0	249	
		計に対する割合	(50.6%)	%	(3.2%)	(10.4%)	(35.7%)	%	%	%	100.0%	

(表15)

学 部	学 科		入 学 者 数								備 考	
			一般入試	A0入試	内部推薦 入 試	指定校推薦入 試	公募推薦 入 試	社会人 入 試	留学生 入 試	帰国生徒 入 試		計
社会学部	社会学科	募集定員	68	10	5	9	55	0	0	0	150	
		入学者数	79	9	1	27	68	0	1	0	185	
		計に対する割合	(42.7%)	(4.9%)	(0.5%)	(14.6%)	(36.8%)	%	(0.5%)	%	100.0%	
合 計		募集定員	68	10	5	9	55	0	0	0	150	
		入学者数	79	9	1	27	68	0	1	0	185	
		計に対する割合	(42.7%)	(4.9%)	(0.5%)	(14.6%)	(36.8%)	%	(0.5%)	%	100.0%	
国際教養学部	アジア学科	募集定員	39	5	2	13	35	0	0	0	100	
		入学者数	64	4	0	16	36	0	3	1	124	
		計に対する割合	(51.6%)	(3.2%)	%	(12.9%)	(29.0%)	%	(2.4%)	(0.8%)	100.0%	
	英語コミュニケーション学科	募集定員	54	8	3	15	47	0	0	0	130	
		入学者数	54	17	3	32	48	0	1	2	157	
		計に対する割合	(34.4%)	(10.8%)	(1.9%)	(20.4%)	(30.6%)	%	(0.6%)	(1.3%)	100.0%	
合 計		募集定員	93	13	5	28	82	0	0	0	230	
		入学者数	118	21	3	48	84	0	4	3	281	
		計に対する割合	(42.0%)	(7.5%)	(1.1%)	(17.1%)	(29.9%)	%	(1.4%)	(1.1%)	100.0%	

- [注] 1 入試の種類については、「Ⅲ 1 学部・学科の志願者・合格者・入学者数の推移」(表13)と同様の区分で作成してください。
 2 各学科および合計欄の下段には全入学者数に対する入試の種類ごとの割合を記入してください。
 3 「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。
 4 「その他」の入試による内訳を、備考欄に記載してください。
 5 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。
 6 各募集定員が若干名の場合は「0」として記入してください。

4 学部・学科の退学者数

(表17)

学部	学科	2006年度					2007年度					2008年度				
		1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
経済学部	経済学科	1	10	4	13	28	5	7	11	18	41	2	16	10	17	45
	国際経済学科	-	-	7	10	17	-	-	-	15	15	0	0	0	7	7
	ヒューマンエコノミー学科	3	13	-	-	16	5	6	11	-	22	2	8	6	6	22
計		4	23	11	23	61	10	13	22	33	78	4	24	16	30	74
経営学部	経営学科	6	7	5	15	33	4	7	7	12	30	5	17	8	10	40
	国際経営学科	-	-	4	10	14	-	-	-	14	14	0	0	0	4	4
	マーケティング学科	4	9	-	-	13	5	7	10	-	22	3	10	5	3	21
計		10	16	9	25	60	9	14	17	26	66	8	27	13	17	65
人間学部	心理学科	-	4	1	6	11	-	-	4	6	10	-	-	-	11	11
	社会学科	-	6	2	9	17	-	-	6	1	7	-	-	-	5	5
計		-	10	3	15	28	-	-	10	7	17	-	-	-	16	16
心理学部	心理学科	5	-	-	-	5	3	7	-	-	10	2	2	5	-	9
計		5	-	-	-	5	3	7	-	-	10	2	2	5	-	9
社会学部	社会学科	5	-	-	-	5	1	3	-	-	4	5	3	2	-	10
計		5	-	-	-	5	1	3	-	-	4	5	3	2	-	10
文学部	アジア文化学科	5	8	5	14	32	-	6	4	7	17	-	-	6	9	15
	英語文化学科	2	1	1	6	10	-	5	3	7	15	-	-	0	6	6
計		7	9	6	20	42	-	11	7	14	32	-	-	6	15	21
国際教養学部	アジア学科	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	7	7	-	-	14
	英語コミュニケーション学科	-	-	-	-	-	7	-	-	-	7	4	12	-	-	16
計		-	-	-	-	-	8	-	-	-	8	11	19	-	-	30
合 計		31	58	29	83	201	31	48	56	80	215	30	75	42	78	225

[注] 1 退学者数には、除籍者も含めてください。

2 修業年限を6年とする学部・学科の場合には、第6年次まで作表してください。

[追手門学院大学 注記]

1. 経済学部国際経済学科は、2005（平成17）年より経済学部ヒューマンエコノミー学科に改組している。
2. 経営学部国際経営学科は、2005（平成17）年より経営学部マーケティング学科に改組している。
3. 人間学部心理学科および社会学科は、2006（平成18）年より心理学部心理学科および社会学部社会学科にそれぞれ改組独立している。
4. 文学部アジア文化学科および英語文化学科は、2007（平成19）年より国際教養学部アジア学科および英語コミュニケーション学科にそれぞれ改組している。
5. 経済学部国際経済学科は2005年4月募集停止のため、2006年度は1年次生・2年次生、2007年度および2008年度は1年次生・2年次生・3年次生の退学者は存在しない。
6. 経営学部国際経営学科は2005年4月募集停止のため、2006年度は1年次生・2年次生、2007年度および2008年度は1年次生・2年次生・3年次生の退学者は存在しない。
7. 経済学部ヒューマンエコノミー学科は2005年4月開設のため、2006年度は3年次生・4年次生、2007年度は4年次生の退学者は存在しない。
8. 経営学部マーケティング学科は2005年4月開設のため、2006年度は3年次生・4年次生、2007年度は4年次生の退学者は存在しない。
9. 人間学部心理学科は2006年4月募集停止のため、2006年度は1年次生、2007年度は1年次生・2年次生、2008年度は1年次生・2年次生・3年次生の退学者は存在しない。
10. 人間学部社会学科は2006年4月募集停止のため、2006年度は1年次生、2007年度は1年次生・2年次生、2008年度は1年次生・2年次生・3年次生の退学者は存在しない。
12. 心理学部心理学科は2006年4月開設のため、2006年度は2年次生・3年次生・4年次生、2007年度は3年次生・4年次生、2008年度は4年次生の退学者は存在しない。
13. 社会学部社会学科は2006年4月開設のため、2006年度は2年次生・3年次生・4年次生、2007年度は3年次生・4年次生、2008年度は4年次生の退学者は存在しない。
14. 国際教養学部アジア学科は2007年4月開設のため、2006年度は全学年、2007年度は2年次生・3年次生・4年次生、2008年度は3年次生・4年次生の退学者は存在しない。
15. 国際教養学部英語コミュニケーション学科は2007年4月開設のため、2006年度は全学年、2007年度は2年次生・3年次生・4年次生、2008年度は3年次生・4年次生の退学者は存在しない。

5 大学院研究科の学生定員及び在籍学生数

(表18)

研究科	専攻	入学定員		収容定員		在籍学生数											
		修士課程	博士課程	修士課程(A)	博士課程(B)	修士課程(博士前期課程)						博士課程(博士後期課程)					
						一般	社会人	留学生	その他	計(C)	C/A	一般	社会人	留学生	その他	計(D)	D/B
経済学研究科	経済学専攻	15	3	30	9	1	1	2	0	4	0.13	0	0	1	0	1	0.11
	経営学専攻	—	—	—	—	1	0	0	0	1	0.00	2	0	0	0	2	0.00
計		15	3	30	9	2	1	2	0	5	0.17	2	0	1	0	3	0.33
経営学研究科	経営学専攻	15	3	30	9	3	0	22	0	25	0.83	4	0	1	0	5	0.56
計		15	3	30	9	3	0	22	0	25	0.83	4	0	1	0	5	0.56
心理学研究科	心理学専攻	25	—	50	—	39	0	0	0	39	0.78	—	—	—	—	—	—
計		25	—	50	—	39	0	0	0	39	0.78	—	—	—	—	—	—
文学研究科	心理学専攻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	社会学専攻	5	—	10	—	0	0	0	0	0	0.00	—	—	—	—	—	—
	中国文化専攻	5	—	10	—	0	0	4	0	4	0.40	—	—	—	—	—	—
	英文学専攻	5	—	10	—	0	0	0	0	0	0.00	—	—	—	—	—	—
計		15	—	30	—	0	0	4	0	4	0.13	—	—	—	—	—	—
合計		70	6	140	18	44	1	28	0	73	0.52	6	0	2	0	8	0.44

- [注] 1 博士課程を前期と後期に区分している場合は、前期課程は修士課程の欄に後期課程は博士課程の欄に記載してください。
また、5年一貫制の博士課程は博士課程の欄に記載してください。
- 2 専門職学位課程については、該当する研究科・専攻名の後に「(専門職)」と付記し、付与する学位の種類に対応する欄に記載してください。
 - 3 科目等履修生、聴講生、研究生は、在籍学生数には含めないでください。
 - 4 「収容定員に対する在籍学生数比率」(C/A)および(D/B)欄については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示してください。

[追手門学院大学 注記]

1. 経済学研究科経営学専攻は、2006(平成18)年より経営学研究科経営学専攻に改組独立している。
2. 文学研究科心理学専攻は、2008(平成20)年より心理学研究科心理学専攻に改組独立している。
3. 経済学研究科経営学専攻は、2006年度4月より募集停止をしたが、2009年5月現在、博士前期課程に2004年度入学者が1名、博士後期課程に2004年度入学者および2005年度入学者がそれぞれ1名ずつ在籍している。
4. 文学研究科心理学専攻の修士課程の大学院生は、2009年5月現在、在籍していない。

「6 法科大学院の学生定員及び在籍学生数（表18-2）」
該当なし

7 大学院研究科の志願者・合格者・入学者数の推移

(表18-3)

研究科名	専攻名		入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005~2009年度年平均)
経済学研究科	経済学専攻	博士前期課程	一般入試	志願者	2	5	1	2	2	25.4
				合格者	0	4	0	2	1	
				入学者(A)	0	4	0	1	1	
				入学定員(B)	0	0	0	0	0	
				A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
			社会人入試	志願者	0	0	0	0	1	
				合格者	0	0	0	0	1	
		入学定員(B)		0	0	0	0	0		
		学内推薦入試	A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
			志願者	4	6	1	0	1		
			合格者	4	6	1	0	1		
			入学定員(B)	0	0	0	0	0		
		課程計	A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
			志願者	6	11	2	2	4		
	合格者		4	10	1	2	3			
	入学者(A)		4	10	1	1	3			
	入学定員(B)		15	15	15	15	15			
	博士後期課程	一般入試	A/B*100	26.7	66.7	6.7	6.7	20.0		
			志願者	1	3	0	1	1		
			合格者	1	3	0	0	1		
			入学定員(B)	3	3	3	3	3		
		A/B*100	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3			
		課程計	志願者	1	3	0	1	1		
			合格者	1	3	0	0	1		
	入学定員(B)		3	3	3	3	3			
	専攻計	A/B*100	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3			
志願者		7	14	2	3	5				
合格者		5	13	1	2	4				
入学者(A)		5	11	1	1	4				
入学定員(B)		18	18	18	18	18				
A/B*100	27.8	61.1	5.6	5.6	22.2					

[追手門学院大学注記]

1. 博士前期課程の課程計人数は15名であるが、この合計人数は、一般入試、社会人入試、学内推薦入試で15名になるように調整しているため、各入試の入学定員を定めておらず0名と記載した。

(表18-3)

研究科名	専攻名	入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度年平均)
経済学研究科	経営学専攻	一般入試	志願者	1	-	-	-	-	106.7
			合格者	1	-	-	-	-	
			入学者(A)	1	-	-	-	-	
			入学定員(B)	0	-	-	-	-	
		A/B*100	0.0	-	-	-	-		
		社会人入試	志願者	0	-	-	-	-	
			合格者	0	-	-	-	-	
			入学者(A)	0	-	-	-	-	
			入学定員(B)	0	-	-	-	-	
		A/B*100	0.0	-	-	-	-		
		学内推薦入試	志願者	17	-	-	-	-	
			合格者	17	-	-	-	-	
	入学者(A)		15	-	-	-	-		
	入学定員(B)		0	-	-	-	-		
	A/B*100	0.0	-	-	-	-			
	課程計	志願者	18	-	-	-	-		
		合格者	18	-	-	-	-		
		入学者(A)	16	-	-	-	-		
		入学定員(B)	15	-	-	-	-		
	A/B*100	106.7	-	-	-	-			
	博士前期課程	一般入試	志願者	4	-	-	-	-	100.0
			合格者	3	-	-	-	-	
			入学者(A)	3	-	-	-	-	
			入学定員(B)	3	-	-	-	-	
A/B*100		100.0	-	-	-	-			
課程計		志願者	4	-	-	-	-		
		合格者	3	-	-	-	-		
		入学者(A)	3	-	-	-	-		
	入学定員(B)	3	-	-	-	-			
A/B*100	100.0	-	-	-	-				
専攻計	志願者	22	-	-	-	-	105.6		
	合格者	21	-	-	-	-			
	入学者(A)	19	-	-	-	-			
	入学定員(B)	18	-	-	-	-			
	A/B*100	105.6	-	-	-	-			
研究科合計	志願者	29	14	2	3	5	32.2		
	合格者	26	13	1	2	4			
	入学者(A)	24	11	1	1	4			
	入学定員(B)	36	18	18	18	18			
	A/B*100	66.7	61.1	5.6	5.6	22.2			

[追手門学院大学 注記]

1. 博士前期課程の課程計人数は15名であるが、この合計人数は、一般入試、社会人入試、学内推薦入試で15名になるように調整しているため、各入試の入学定員を定めておらず0名と記載した。
2. 経済学研究科経営学専攻は、2006（平成18）年より経営学研究科経営学専攻に改組独立している。

(表18-3)

研究科名	専攻名	入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005~2009年度年平均)
経営学研究科	経営学専攻	一般入試	志願者	-	6	9	10	11	115.0
			合格者	-	5	4	8	9	
			入学者(A)	-	5	3	8	8	
			入学定員(B)	-	0	0	0	0	
		A/B*100	-	0.0	0.0	0.0	0.0		
		社会人入試	志願者	-	0	1	0	0	
			合格者	-	0	1	0	0	
			入学者(A)	-	0	0	0	0	
			入学定員(B)	-	0	0	0	0	
		A/B*100	-	0.0	0.0	0.0	0.0		
		学内推薦入試	志願者	-	21	17	7	2	
			合格者	-	20	17	7	2	
			入学者(A)	-	20	16	7	2	
			入学定員(B)	-	0	0	0	0	
		A/B*100	-	0.0	0.0	0.0	0.0		
		課程計	志願者	-	27	27	17	13	
	合格者		-	25	22	15	11		
	入学者(A)		-	25	19	15	10		
	入学定員(B)		-	15	15	15	15		
	A/B*100	-	166.7	126.7	100.0	66.7			
	博士前期課程	一般入試	志願者	-	0	3	0	2	41.7
			合格者	-	0	3	0	2	
			入学者(A)	-	0	3	0	2	
		入学定員(B)	-	3	3	3	3		
		A/B*100	-	0.0	100.0	0.0	66.7		
		課程計	志願者	-	0	3	0	2	
	合格者		-	0	3	0	2		
入学者(A)	-		0	3	0	2			
入学定員(B)	-	3	3	3	3				
A/B*100	-	0.0	100.0	0.0	66.7				
専攻計	志願者	-	27	30	17	15	102.8		
	合格者	-	25	25	15	13			
	入学者(A)	-	25	22	15	12			
	入学定員(B)	-	18	18	18	18			
	A/B*100	-	138.9	122.2	83.3	66.7			
研究科合計	志願者	-	27	30	17	15	102.8		
	合格者	-	25	25	15	13			
	入学者(A)	-	25	22	15	12			
	入学定員(B)	-	18	18	18	18			
	A/B*100	-	138.9	122.2	83.3	66.7			

[追手門学院大学 注記]

1. 博士前期課程の課程計人数は15名であるが、この合計人数は、一般入試、社会人入試、学内推薦入試で15名になるように調整しているため、各入試の入学定員を定めておらず0名と記載した。
2. 経営学研究科経営学専攻は、2006（平成18）年より経済学研究科経営学専攻から改組独立している。

(表18-3)

研究科名	専攻名		入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005~2009年度年平均)
心理学研究科	心理学専攻	修士課程	一般入試	志願者	-	-	-	84	73	78.0
				合格者	-	-	-	29	26	
				入学者(A)	-	-	-	21	18	
				入学定員(B)	-	-	-	25	25	
		A/B*100	-	-	-	84.0	72.0			
		課程計	志願者	-	-	-	84	73		
			合格者	-	-	-	29	26		
			入学者(A)	-	-	-	21	18		
	入学定員(B)		-	-	-	25	25			
	専攻計			志願者	-	-	-	84	73	78.0
				合格者	-	-	-	29	26	
				入学者(A)	-	-	-	21	18	
				入学定員(B)	-	-	-	25	25	
				A/B*100	-	-	-	84.0	72.0	
研究科合計			志願者	-	-	-	84	73	78.0	
			合格者	-	-	-	29	26		
			入学者(A)	-	-	-	21	18		
			入学定員(B)	-	-	-	25	25		
			A/B*100	-	-	-	84.0	72.0		

[追手門学院大学 注記]

1. 心理学研究科心理学専攻は、2008（平成20）年より文学研究科心理学専攻から改組独立している。

(表18-3)

研究 科名	専攻名		入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005~2009年度年平均)		
文 学 研 究 科	心 理 学 専 攻	修士 課程	一般入試	志願者	61	101	94	-	-	91.1		
				合格者	17	19	19	-	-			
				入学者(A)	14	13	14	-	-			
				入学定員(B)	15	15	15	-	-			
				A/B*100	93.3	86.7	93.3	-	-			
				志願者	61	101	94	-	-			
		合格者	17	19	19	-	-					
		入学者(A)	14	13	14	-	-					
		入学定員(B)	15	15	15	-	-					
		A/B*100	93.3	86.7	93.3	-	-					
		専攻計				61	101	94	-		-	91.1
						17	19	19	-		-	
					14	13	14	-	-			
					15	15	15	-	-			
					93.3	86.7	93.3	-	-			
	文 学 研 究 科	社 会 学 専 攻	修士 課程	一般入試	志願者	0	1	1	0	0	4.0	
					合格者	0	1	1	0	0		
					入学者(A)	0	0	1	0	0		
					入学定員(B)	0	0	0	0	0		
					A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
					志願者	0	0	0	0	0		
			合格者	0	0	0	0	0				
			入学者(A)	0	0	0	0	0				
			入学定員(B)	0	0	0	0	0				
A/B*100			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
志願者			1	1	2	3	2					
合格者			0	0	1	0	0					
入学者(A)		0	0	0	0	0						
入学定員(B)		0	0	0	0	0						
A/B*100		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
志願者		1	2	3	3	2						
合格者		0	1	2	0	0						
入学者(A)		0	0	1	0	0						
入学定員(B)		5	5	5	5	5						
A/B*100		0.0	0.0	20.0	0.0	0.0						
専攻計				1	2	3	3	2	4.0			
				0	1	2	0	0				
				0	0	1	0	0				
				5	5	5	5	5				
				0.0	0.0	20.0	0.0	0.0				

[追手門学院大学 注記]

1. 社会学専攻の課程計人数は5名であるが、この合計人数は、一般入試、社会人入試、外国人留学生入試で5名になるように調整しているため、各入試の入学定員を定めておらず0名と記載した。
2. 文学研究科心理学専攻は、2008（平成20）年より心理学研究科心理学専攻に改組独立している。

(表18-3)

研究 科名	専攻名		入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の 比率(2005~2009年度年平均)
文学 研究 科	中国 文化 専攻	修士 課程	一般入試	志願者	2	1	0	0	1	
				合格者	2	1	0	0	0	
				入学者(A)	2	0	0	0	0	
				入学定員(B)	0	0	0	0	0	
				A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
			社会人入試	志願者	0	0	0	0	0	
				合格者	0	0	0	0	0	
				入学者(A)	0	0	0	0	0	
				入学定員(B)	0	0	0	0	0	
				A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	外国人留学生入試	志願者	2	2	2	5	2			
		合格者	2	2	2	4	1			
		入学者(A)	2	1	1	3	1			
		入学定員(B)	0	0	0	0	0			
		A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	課程計	志願者	4	3	2	5	3			
		合格者	4	3	2	4	1			
		入学者(A)	4	1	1	3	1			
		入学定員(B)	5	5	5	5	5			
		A/B*100	80.0	20.0	20.0	60.0	20.0			
専攻計	志願者	4	3	2	5	3				
	合格者	4	3	2	4	1				
	入学者(A)	4	1	1	3	1				
	入学定員(B)	5	5	5	5	5				
	A/B*100	80.0	20.0	20.0	60.0	20.0				

[追手門学院大学 注記]

1. 中国文化専攻の課程計人数は5名であるが、この合計人数は、一般入試、社会人入試、外国人留学生入試で5名になるように調整しているため、各入試の入学定員を定めておらず0名と記載した。

(表18-3)

研究 科名	専攻名	入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の 比率 (2005~2009年度年平 均)
文 学 研 究 科	英 文 学 専 攻	一般入試	志願者	0	1	0	0	0	8.0
			合格者	0	0	0	0	0	
			入学者(A)	0	0	0	0	0	
			入学定員(B)	0	0	0	0	0	
			A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		社会人入試	志願者	0	0	0	0	0	
			合格者	0	0	0	0	0	
			入学者(A)	0	0	0	0	0	
			入学定員(B)	0	0	0	0	0	
			A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		学内推薦入試	志願者	1	2	0	0	0	
			合格者	1	2	0	0	0	
	入学者(A)		1	1	0	0	0		
	入学定員(B)		0	0	0	0	0		
	A/B*100		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	課程計	志願者	1	3	0	0	0		
		合格者	1	2	0	0	0		
		入学者(A)	1	1	0	0	0		
		入学定員(B)	5	5	5	5	5		
		A/B*100	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0		
専攻計	志願者	1	3	0	0	0			
	合格者	1	2	0	0	0			
	入学者(A)	1	1	0	0	0			
	入学定員(B)	5	5	5	5	5			
	A/B*100	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0			
研 究 科 合 計	志願者	67	109	99	8	5			
	合格者	22	25	23	4	1			
	入学者(A)	19	15	16	3	1			
	入学定員(B)	30	30	30	15	15			
	A/B*100	63.3	50.0	53.3	20.0	6.7			
大 学 院 合 計	志願者	96	150	131	112	98			
	合格者	48	63	49	50	44			
	入学者(A)	43	51	39	40	35			
	入学定員(B)	66	66	66	76	76			
	A/B*100	65.2	77.3	59.1	52.6	46.1			

[追手門学院大学 注記]

1. 英文学専攻の課程計人数は5名であるが、この合計人数は、一般入試、社会人入試、学内推薦入試で5名になるように調整しているため、各入試の入学定員を定めておらず0名と記載した。

- [注] 1 博士課程前期（修士）課程、博士課程後期（博士）課程、一貫制、専門職大学院のそれぞれの課程ごとに記入してください。
- 2 法科大学院については、（表18-4）に記入してください。
- 3 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を（ ）内に記入してください。
ただし、相当数の学生（約一割以上）を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。
なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。
- 4 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。
- 5 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。
- 6 「課程」「専攻」「研究科」「大学院」の各計について、「入学定員に対する入学者数の比率（2005～2009年度平均）」欄に、5カ年の「入学定員に対する入学者」の割合を合計し、5で除した数値を記入してください。

[追手門学院大学 注記]

1. 経済学研究科経営学専攻は、2006（平成18）年より経営学研究科経営学専攻に改組独立している。
2. 文学研究科心理学専攻は、2008（平成20）年より心理学研究科心理学専攻に改組独立している。
3. 経営学研究科経営学専攻博士（前期課程）は2006年4月1日開設のため、2005年度は経済学研究科経営学専攻（前期課程）の大学院生である。
4. 経営学研究科経営学専攻 博士（後期課程）は2006年4月1日開設のため、2005年度は経済学研究科経営学専攻（後期課程）の大学院生である。
5. 心理学研究科心理学専攻 修士課程は2008年4月1日開設のため、2007年度以前は文学研究科心理学専攻 修士課程の大学院生である。

「8 法科大学院の志願者・合格者・入学者数の推移（表18-4）」
該当なし

IV 教員組織

1-1 全学の教員組織

(表19)

学部・学科、研究科・ 専攻、研究所等		専任教員数										助手	備考
		教授		准教授		講師		助教		計			
			特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		
経済学部	経済学科	11	0	6	-	1	0	0	-	18	0		学長含む
	国際経済学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		経済学部国際経済学科は、2005（平成17）年より経済学部ヒューマンエコノミー学科に改組している。
	ヒューマンエコノミー学科	6	0	5	-	3	0	0	-	14	0		
計		17	0	11	-	4	0	0	-	32	0		
経営学部	経営学科	11	0	6	-	2	0	0	-	19	0		
	国際経営学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		経営学部国際経営学科は、2005（平成17）年より経営学部マーケティング学科に改組している。
	マーケティング学科	11	0	5	-	1	0	0	-	17	0		
計		22	0	11	-	3	0	0	-	36	0		
人間学部	心理学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		人間学部心理学科および社会学科は、2006（平成18）年より心理学部心理学科および社会学部社会学科にそれぞれ改組独立している。
	社会学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
心理学部	心理学科	17	0	7	-	2	0	0	-	26	0		授業を担当していない講師含む 心理学部心理学科は、2006（平成18）年より人間学部心理学科から改組独立している。
計		17	0	7	-	2	0	0	-	26	0		
社会学部	社会学科	8	0	7	-	3	0	0	-	18	0		社会学部社会学科は、2006（平成18）年より人間学部社会学科から改組独立している。
計		8	0	7	-	3	0	0	-	18	0		
文学部	アジア文化学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		文学部アジア文化学科および英語文化学科は、2007（平成19）年より国際教養学部アジア学科および英語コミュニケーション学科にそれぞれ改組している。
	英語文化学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
国際教養学部	アジア文化学科	12	0	2	-	0	0	0	-	14	0		国際教養学部アジア学科および英語コミュニケーション学科は、2007（平成19）年より文学部アジア文化学科および英語文化学科からそれぞれ改組している。
	英語コミュニケーション学科	8	0	3	-	3	0	0	-	14	0		
計		20	0	5	-	3	0	0	-	28	0		

(表19)

学部・学科、研究科・ 専攻、研究所等		専任教員数										助手	備考
		教授		准教授		講師		助教		計			
			特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		
経済学研究科	経済学専攻（博士前期課程）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	経済学専攻（博士後期課程）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	経営学専攻（博士前期課程）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	経済学研究科経営学専攻は、2006（平成18）年より経営学研究科経営学専攻に改組独立している。	
	経営学専攻（博士後期課程）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
経営学研究科	経営学専攻（博士前期課程）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	経営学研究科経営学専攻は、2006（平成18）年より経済学研究科経営学専攻から改組独立している。	
	経営学専攻（博士後期課程）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
心理学研究科	心理学専攻（修士課程）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	心理学研究科心理学専攻は、2008（平成20）年より文学研究科心理学専攻から改組独立している。	
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
文学研究科	心理学専攻（修士課程）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	文学研究科心理学専攻は、2008（平成20）年より心理学研究科心理学専攻に改組独立している。	
	社会学専攻（修士課程）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	中国文化専攻（修士課程）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	英文学専攻（修士課程）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

(表19)

学部・学科、研究科・ 専攻、研究所等	専任教員数										助手	備考
	教授		准教授		講師		助教		計			
		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		
オーストラリア研究所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
教育研究所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ベンチャービジネス研究所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
総合情報教育センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
国際交流教育センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
地域支援心理研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	84	0	41	-	15	0	0	-	140	0		

[注] 1 全学の専任教員について、学部、大学院研究科、専門職大学院、研究所等、各所属組織ごとに記載してください。

2 専門職大学院については、該当する研究科（または専攻名）の後に「（専門職）」と付記してください。

3 教育組織と教員組織が異なる場合は、専任教員が在籍しなくても、まず教育組織を記載し、その後に教員組織を記載し、当該教員組織に専任教員数を記入してください（次ページ記入例参照）。

4 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織がある場合には、「（その他の組織）」欄に、その名称を記載し、専任教員数を記入してください。

5 本表においては、大学設置基準第11条にいう「授業を担当しない教員」についても、専任教員数に含めて記入してください。

6 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制教員を除き、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、専任者（教育研究条件等において専任教員と同等の者）のみを「専任教員数」の欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄（左側）に含めて記入するとともに、その数を「特任等（内数）」欄に内数で示してください。専任者以外の特任者等については記入しないでください。

7 「専任教員数」欄については、本表内では1人の専任教員を複数の組織に重複して記入しないでください。

[追手門学院大学 注記]

1. 経済学部国際経済学科は、2005（平成17）年より経済学部ヒューマンエコノミー学科に改組している。
2. 経営学部国際経営学科は、2005（平成17）年より経営学部マーケティング学科に改組している。
3. 人間学部心理学科および社会学科は、2006（平成18）年より心理学部心理学科および社会学部社会学科にそれぞれ改組独立している。
4. 文学部アジア文化学科および英語文化学科は、2007（平成19）年より国際教養学部アジア学科および英語コミュニケーション学科にそれぞれ改組している。
5. 経済学研究科経営学専攻は、2006（平成18）年より経営学研究科経営学専攻に改組独立している。
6. 文学研究科心理学専攻は、2008（平成20）年より心理学研究科心理学専攻に改組独立している。
7. 経済学部国際経済学科の専任教員組織は、経済学部国際経済学科が2005（平成17）年より経済学部ヒューマンエコノミー学科に改組したため、経済学部ヒューマンエコノミー学科の専任教員組織に全て移行している。
8. 経営学部国際経営学科の専任教員組織は、経営学部国際経営学科が2005（平成17）年より経営学部マーケティング学科に改組したため、経営学部マーケティング学科の専任教員組織に全て移行している。
9. 人間学部心理学科の専任教員組織は、人間学部心理学科が2006（平成18）年より心理学部心理学科に改組独立したため、心理学部心理学科の専任教員組織に全て移行している。
10. 心理学部心理学科の講師数を2名と記入しているが、その内1名は授業を担当しない講師が含まれているので、（表19-2）の心理学部心理学科講師数の1名と一致しない。
11. 人間学部社会学科の専任教員組織は、人間学部社会学科が2006（平成18）年より社会学部社会学科に改組独立したため、社会学部社会学科の専任教員組織に全て移行している。
12. 文学部アジア文化学科の専任教員組織は、文学部アジア学科が2007（平成19）年より国際教養学部アジア学科に改組したため、国際教養学部アジア学科の専任教員組織に全て移行している。
13. 文学部英語文化学科の専任教員組織は、文学部英語文化学科が2007（平成19）年より国際教養学部英語コミュニケーション学科に改組したため、国際教養学部英語コミュニケーション学科の専任教員組織に全て移行している。

1-2 学部の教員組織

(表19-2)

学部・学科等		専任教員数										助手	設置基準上 必要専任教員数	専任教員1人 当たりの 在籍学生数 (表14(B)/計(A))	兼任 教員数	備 考
		教授		准教授		講 師		助教		計 (A)						
			特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)					
経済学部	経済学科	11	0	6	-	1	0	0	-	18	0	0	12	55.8	18	
	国際経済学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	経済学部国際経済学科は、2005（平成17）年より経済学部ヒューマンエコノミー学科に改組している。経済学部国際経済学科は、2005（平成17）年4月より募集停止。
	ヒューマンエコノミー学科	6	0	5	-	3	0	0	-	14	0	0	10	50.1	19	
計		17	0	11	-	4	0	0	-	32	0	0	22	53.7	37	
経営学部	経営学科	11	0	6	-	2	0	0	-	19	0	0	12	53.4	33	兼任教員数には院のみ担当教員1名含む
	国際経営学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	マーケティング学科の兼任教員数には資格担当教員1名含む。経営学部国際経営学科は、2005（平成17）年より経営学部マーケティング学科に改組している。経営学部国際経営学科は、2005（平成17）年4月より募集停止。
	マーケティング学科	11	0	5	-	1	0	0	-	17	0	0	12	52.6	15	
計		22	0	11	-	3	0	0	-	36	0	0	24	53.2	48	

(表19-2)

学部・学科等		専任教員数										助手	設置基準上 必要専任 教員数	専任教員1人 当たりの 在籍学生数 (表14(B)/計(A))	兼 任 教員数	備 考
		教授		准教授		講 師		助教		計 (A)						
			特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)					
人間学部	心理学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	人間学部心理学科および社会学科は、2006（平成18）年より心理学部心理学科および社会学部社会学科にそれぞれ改組独立している。人間学部心理学科および社会学科は、2006（平成18）年4月より募集停止。
	社会学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
心理学部	心理学科	17	0	7	-	1	0	0	-	25	0	0	12	38.2	19	心理学部心理学科は、2006（平成18）年より人間学部心理学科から改組独立している。
計		17	0	7	-	1	0	0	-	25	0	0	12	38.2	19	
社会学部	社会学科	8	0	7	-	3	0	0	-	18	0	0	14	39.9	30	社会学部社会学科は、2006（平成18）年より人間学部社会学科から改組独立している。
計		8	0	7	-	3	0	0	-	18	0	0	14	39.9	30	

(表19-2)

学部・学科等		専任教員数										助手	設置基準上 必要専任 教員数	専任教員1人 当たりの 在籍学生数 (表14(B)/計(A))	兼 任 教員数	備 考
		教授		准教授		講 師		助教		計 (A)						
		特任等 (内数)														
文学部	アジア文化学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	文学部アジア文化学科および英語文化学科は、2007（平成19）年より国際教養学部アジア学科および英語コミュニケーション学科にそれぞれ改組している。文学部アジア文化学科および英語文化学科は、2007（平成19）年4月より募集停止。
	英語文化学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
国際教養学部	アジア学科	12	0	2	-	0	0	0	-	14	0	0	7	24.9	32	国際教養学部アジア学科および英語コミュニケーション学科は、2007（平成19）年より文学部アジア文化学科および英語文化学科からそれぞれ改組している。
	英語コミュニケーション学科	8	0	3	-	3	0	0	-	14	0	0	7	32.9	21	
計		20	0	5	-	3	0	0	-	28	0	0	14	28.9	53	
(その他の学部教育担当組織)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大学全体の収容定員に応じ定める専任教員数		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	47	/	/	
合 計		84	0	41	-	14	0	0	-	139	0	0	133	/	187	

- [注] 1 「専任教員数」については、(表19)のうち、学部教育を担当する専任教員について作表してください。
- 2 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等の学部教育を担当する独立の組織がある場合には、「(その他の学部教育担当組織)」欄に、その名称を記載し、専任教員数を記入してください。
- 3 「専任教員数」欄には、大学院研究科等の専任で、その研究科の基礎となる学部・学科等においても専任として授業を担当している教員数も含めて記入してください。その場合、(表19-3)及び(表19-4)の専任教員が、本表においても専任教員に算入されます。たとえば、大学院研究科に専任教員が配置され、学部教育が専ら研究科の専任教員によって行われている場合がこの典型的な例です。
- 4 教育組織と教員組織が異なる場合も、大学設置基準における必要専任教員数に留意して、学部教育担当専任教員数を適切に記入してください。
- 5 当該学部・学科の専任であっても、大学設置基準第11条にいう「授業を担当しない教員」については、専任教員数には含めないでください。
- 6 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制教員を除き、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、専任者(研究条件等において専任教員と同等の者)のみを「専任教員数」欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄(左側)に含めて記入するとともに、その数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。専任者以外の特任者等については「兼任教員数」欄に含めて記入してください。
- 7 「専任教員数」欄については、本表内では1人の専任教員を複数の組織に重複記入しないでください。
- 8 「兼任教員数」欄には、学外からのいわゆる非常勤教員数を記入してください。併設短期大学からの兼務者も「兼任教員数」の欄に含めてください。なお、国立大学所属教員については、「兼任」「兼任」を共に「併任」としている場合もありますが、学外からの併任者は「兼任教員数」欄に記入してください。
- 同一の兼任教員が複数の学科を担当する場合は、それぞれ記入してください(重複可)。大学の状況によっては、兼任教員数の欄は学科ごとではなく学部全体で記述しても結構です。
- 9 「設置基準上必要専任教員数」欄には、大学設置基準別表第一、第二をもとに算出した数値を記入してください。同表に基づかない算出方法により設置認可を得ている場合にはその数値を記入するとともに備考欄にその旨を記述してください。
- 10 「助手」欄には、大学院研究科等の専任で学部の業務にも従事している助手数も含めて記入してください。
- 11 専任教務補助員(例えば、いわゆる副手、実験補助員等)、ティーチング・アシスタント(TA)、リサーチ・アシスタント(RA)については、「備考」欄にその各々の名称と人数を記入してください。

[追手門学院大学 注記]

1. 経済学部国際経済学科は、2005（平成17）年より経済学部ヒューマンエコノミー学科に改組している。
2. 経営学部国際経営学科は、2005（平成17）年より経営学部マーケティング学科に改組している。
3. 人間学部心理学科および社会学科は、2006（平成18）年より心理学部心理学科および社会学部社会学科にそれぞれ改組独立している。
4. 文学部アジア文化学科および英語文化学科は、2007（平成19）年より国際教養学部アジア学科および英語コミュニケーション学科にそれぞれ改組している。
5. 経済学部国際経済学科の専任教員組織は、経済学部国際経済学科が2005（平成17）年より経済学部ヒューマンエコノミー学科に改組したため、経済学部ヒューマンエコノミー学科の専任教員組織に全て移行している。
6. 経済学部経済学科の細井雅代准教授は、本年度育児休業中で授業は担当していないが準教授数に含めた。
7. 経営学部国際経営学科の専任教員組織は、経営学部国際経営学科が2005（平成17）年より経営学部マーケティング学科に改組したため、経営学部マーケティング学科の専任教員組織に全て移行している。
8. 人間学部心理学科の専任教員組織は、人間学部心理学科が2006（平成18）年より心理学部心理学科に改組独立したため、心理学部心理学科の専任教員組織に全て移行している。
9. 心理学部心理学科の荒木浩子講師は、授業を担当できない契約のため講師数から除外したので、（表19）の講師数2名と一致しない。
10. 人間学部社会学科の専任教員組織は、人間学部社会学科が2006（平成18）年より社会学部社会学科に改組独立したため、社会学部社会学科の専任教員組織に全て移行している。
11. 文学部アジア文化学科の専任教員組織は、文学部アジア学科が2007（平成19）年より国際教養学部アジア学科に改組したため、国際教養学部アジア学科の専任教員組織に全て移行している。
12. 国際教養学部アジア学科の筒井由起乃准教授は、春学期育児休業、秋学期から授業を担当したので準教授数に含めた。
13. 文学部英語文化学科の専任教員組織は、文学部英語文化学科が2007（平成19）年より国際教養学部英語コミュニケーション学科に改組したため、国際教養学部英語コミュニケーション学科の専任教員組織に全て移行している。

「設置基準上必要専任教員数」各学部欄の大学設置基準別表第一における「学部の種類」

- ・経済学部 → 経済学関係
- ・経営学部 → 経済学関係
- ・心理学部 → 文学関係
- ・社会学部 → 社会学・社会福祉学関係
- ・国際教養学部 → 文学関係

1-3 大学院研究科の教員組織（専門職大学院を除く）

(表19-3)

研究科・専攻			専任教員数										助手	専任教員のうち		設置基準上 必要専任教員数		兼任 教員数	備考
			教授		准教授		講師		助教		計			研究指導 教員数	研究指導 補 助 教 員 数	研究指導 教員数	研究指導 補 助 教 員 数		
			特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)								
経済学研究科	経済学専攻	博士前期課程	16	0	0	-	0	0	0	-	16	0	0	16 (16)	0	5 (4)	4	2	
		博士後期課程	9	0	0	-	-	-	-	-	9	0	-	9 (9)	0	5 (4)	4		
	経営学専攻	博士前期課程	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		博士後期課程	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
経営学研究科	経営学専攻	博士前期課程	22	0	3	-	0	0	0	-	25	0	0	22 (21)	0	5 (4)	4	0	経営学研究科経営学専攻は、2006（平成18）年より経済学研究科経営学専攻から改組独立している。
		博士後期課程	13	0	0	0	-	-	-	-	13	0	-	10 (10)	0	5 (4)	4	1	
心理学研究科	心理学専攻	修士課程	12	0	6	-	1	0	0	-	19	0	0	19 (12)	0	2 (2)	3	4	心理学研究科心理学専攻は、2008（平成20）年より文学研究科心理学専攻から改組独立している。
文学研究科	心理学専攻	修士課程	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	文学研究科心理学専攻は、2008（平成20）年より心理学研究科心理学専攻に改組独立している。文学研究科心理学専攻は、2008（平成20）年4月より募集停止。	
	社会学専攻	修士課程	6	0	5	-	0	0	0	-	11	0	0	11 (6)	0	3 (2)	2	0	
	中国文化専攻	修士課程	10	0	1	-	0	0	0	-	11	0	0	11 (10)	0	2 (2)	3	1	
	英文学専攻	修士課程	5	0	1	-	0	0	0	-	6	0	0	6 (5)	0	3 (2)	2	0	
合計			93	0	16	-	1	0	0	-	110	0	0	(89)	0	30 (24)	26	8	

() 内は教授の数を内数で示す。

- [注] 1 専任教員については、(表19)のうち、大学院研究科の教育を担当する専任教員について専攻、課程ごとに記入してください。
- 2 専門職大学院については、既存の研究科の1専攻として置かれている場合であっても、次表(表19-4)により別に作表してください。
- 3 「専任教員数」欄には、学部・学科等の専任で、たとえば、その学部・学科等に基礎を置く当該研究科・専攻等においても専任として授業を担当している常勤教員数も含めて記入してください。その場合、前表(19-2)の専任教員が、本表にも専任教員に算入されます。
- 4 教育組織と教員組織が異なる場合も、大学院設置基準等における必要専任教員数に留意して大学院研究科の教育を担当する専任教員数を適切に記入してください。
- 5 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制教員を除き、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、専任者(研究条件等において専任教員と同等の者)のみを「専任教員数」欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄(左側)に含めて記入するとともに、その数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。専任者以外の特任者等については「兼任教員数」欄に含めて記入してください。
- 6 「研究指導教員」とは、大学院設置基準第9条第1項各号に掲げる資格を有する教員を指し、「研究指導補助教員」とは、研究指導の補助を行い得る教員を指します。
- 7 「研究指導教員数」欄の()には、教授の数を内数で記入してください。
- 8 「専任教員数」欄については、本表内では1人の専任教員を同一の課程に重複して算入しないでください。1人の専任教員を修士課程と博士課程の両課程においてそれぞれ1専攻に限り専任とすることはできますが、どちらか一方の課程において、複数の専攻の専任とすることはできませんので、留意してください。
- 9 「兼任教員数」欄には、学外からのいわゆる非常勤教員数を記入してください。なお、国立大学所属教員については、「兼任」「兼任」を共に「併任」としている場合もありますが、学外からの併任者は「兼任教員数」欄に記入してください。
同一の兼任教員が複数の学科を担当する場合は、それぞれ記入してください(重複可)。大学の状況によっては、兼任教員数の欄は専攻ごとではなく研究科全体で記入しても結構です。
- 10 「設置基準上必要専任教員数」欄には、「大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件」(平成11年文部省告示 第175号)により算出した数値を記入してください。同表に基づかない算出方法により設置認可を得ている場合にはその数値を記入するとともに備考欄にその旨を記述してください。
- 11 「助手」欄には、学部・学科等の専任で大学院研究科の業務にも従事している助手数も含めて記入してください。
- 12 専任教務補助員(例えば、いわゆる副手、実験補助員等)、ティーチング・アシスタント(TA)、リサーチ・アシスタント(RA)については、「備考」欄にその各々の名称と人数を記入してください。

[追手門学院大学 注記]

1. 経済学研究科経営学専攻は、2006(平成18)年より経営学研究科経営学専攻に改組独立している。
2. 文学研究科心理学専攻は、2008(平成20)年より心理学研究科心理学専攻に改組独立している。
3. 経済学研究科経営学専攻の専任教員組織は、経済学研究科経営学専攻が2006(平成18)年より経営学研究科経営学専攻に改組独立したため、経営学研究科経営学専攻に全て移行している。
4. 文学研究科心理学専攻の専任教員組織は、文学研究科心理学専攻が2008(平成20)年より心理学研究科心理学専攻に改組独立したため、心理学研究科心理学専攻に全て移行している。

専任教員数欄および兼任教員数欄について

1. 経済学研究科経営学専攻の教授の内、9名は博士(後期)も担当している。
2. 経済学研究科経営学専攻の兼任教員の内、1名は博士(後期)も担当している。
3. 経営学研究科経営学専攻の教授の内、13名は博士(後期)も担当している。

「1-4 専門職大学院の教員組織（表19-4）」
該当なし

1-5 事務組織

(表19-5)

	部署名	専任職員		常勤嘱託 職員	兼務職員	派遣職員	その他	計		
			うち管理職							
法人業務系	法人事務局	8	3	0	0	0	0	8		
		総務課	7	1	0	0	8	1	16	
		人事課	6	1	0	0	1	3	10	
		財務課	7	1	0	0	10	0	17	
		管財課	7	1	0	0	3	0	10	
		大手前センター	1	0	0	0	0	2	3	
		小計	36	7	0	0	22	6	64	
		経営戦略室	1	1	0	0	0	0	1	
			経営戦略室	3	0	0	0	2	1	6
		小計	4	1	0	0	2	1	7	
		監査室	0	0	0	0	0	0	0	
			監査室	2	1	0	0	0	0	2
		小計	2	1	0	0	0	0	2	
	計	42	9	0	0	24	7	73		
大学業務系	学長室	1	1	0	0	0	0	1		
		学長事務室	7	0	0	0	3	0	10	
		小計	8	1	0	0	3	0	11	
	大学事務部	2	1	0	0	0	0	0	2	
		庶務課	4	1	0	0	3	0	7	
		小計	6	2	0	0	3	0	9	
	教務部	0	0	0	0	0	0	0	0	
		教務課	13	1	0	0	9	2	24	
		小計	13	1	0	0	9	2	24	
	入試部	1	1	0	0	0	0	0	1	
	入学試験課	5	1	0	0	2	0	7		
	入試広報課	5	0	5	0	3	0	13		
	小計	11	2	5	0	5	0	21		

(表19-5)

	部 署 名	専任職員		常勤嘱託 職 員	兼務職員	派遣職員	そ の 他	計
			うち管理職					
大 学 業 務 系	学生部	1	1	0	0	0	0	1
	学生課	6	1	3	0	6	0	15
	学生相談室	0	0	1	7	0	0	8
	小 計	7	2	4	7	6	0	24
	キャリア開発部	1	1	0	0	0	0	1
	キャリア開発課	6	1	0	2	7	0	15
	キャリア教育支援室	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	7	2	0	2	7	0	16
	サテライトオフィス	0	0	0	0	0	0	0
	サテライトオフィス	0	0	2	0	2	0	4
	小 計	0	0	2	0	2	0	4
	オーストラリア研究所	0	0	0	0	0	0	0
	オーストラリア研究所	0	0	0	0	1	0	1
	小 計	0	0	0	0	1	0	1
	教育研究所	0	0	0	0	0	0	0
	教育研究所	0	0	0	0	1	0	1
	小 計	0	0	0	0	1	0	1
	ベンチャービジネス研究所	0	0	0	0	0	0	0
	ベンチャービジネス研究所	0	0	0	1	0	0	1
	小 計	0	0	0	1	0	0	1
	総合情報教育センター	0	0	0	0	0	0	0
	総合情報教育センター	4	1	0	30	3	3	40
	小 計	4	1	0	30	3	3	40
	国際交流教育センター	0	0	0	0	0	0	0
国際交流教育センター	3	1	0	19	4	0	26	
小 計	3	1	0	19	4	0	26	

(表19-5)

	部署名	専任職員		常勤嘱託職員	兼務職員	派遣職員	その他	計
			うち管理職					
大学業務系	地域支援心理研究センター	0	0	0	0	0	0	0
	地域支援心理研究センター	0	0	0	9	2	0	11
	小計	0	0	0	9	2	0	11
	附属図書館	0	0	0	0	0	0	0
	附属図書館	3	1	1	4	0	16	24
	小計	3	1	1	4	0	16	24
	計	62	13	12	72	46	21	213
合計		104	22	12	72	70	28	286

[注] 1 それぞれの部署について、業務の内容から「法人業務系」と「大学業務系」に大別して記載してください。

2 「専任職員」欄には、期間の定めのない雇いで、常時勤務している職員数を、「常勤嘱託職員」欄には、期間の定めはあるが、専任職員に準じた雇用形態をとっている職員数を、「兼務職員」欄には、雇用期間が6カ月以上の職員数を、「派遣職員」欄には、労働者派遣契約を締結することにより受け入れている職員数をそれぞれ記入してください。なお、いずれにも該当しない職員については、「その他」欄に記入してください。

3 部長・次長など「課」に属さない職員は、「部」でまとめて記入してください。

4 部単位に「小計」、各系ごとに「計」を入れ、それぞれ集計してください。

5 「助手」は、「教員組織」(表19～表19-4)に記入してください。

3 専任教員年齢構成

(表21)

学部・研究科	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	26歳～ 30歳	計	
経済学部	教授	1	4	4	3	4	1	0	0	0	0	17	
		5.9%	23.5%	23.5%	17.7%	23.5%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	准教授	0	0	2	1	3	2	2	0	0	1	0	11
		0.0%	0.0%	18.2%	9.1%	27.3%	18.2%	18.2%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	100.0%
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	4
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	100.0%
	助教	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
%		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	0.0%	
学部計	1	4	6	4	7	3	2	2	2	2	1	32	
	3.1%	12.5%	18.8%	12.5%	21.9%	9.4%	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	3.1%	100.0%	
経営学部	教授	0	6	6	5	3	2	0	0	0	0	22	
		0.0%	27.3%	27.3%	22.7%	13.6%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	准教授	0	0	0	1	1	0	2	6	1	0	11	
		0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	18.2%	54.6%	9.1%	0.0%	100.0%	
	専任講師	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	助教	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
%		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	0.0%	
学部計	0	6	6	6	4	3	4	6	1	0	0	36	
	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	11.1%	8.3%	11.1%	16.7%	2.8%	0.0%	0.0%	100.0%	
心理学部	教授	0	4	4	4	2	2	1	0	0	0	17	
		0.0%	23.5%	23.5%	23.5%	11.8%	11.8%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	准教授	0	0	0	1	1	2	1	0	2	0	7	
		0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	100.0%	
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
	助教	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
%		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	0.0%	
学部計	0	4	4	5	3	4	2	0	4	0	0	26	
	0.0%	15.4%	15.4%	19.2%	11.5%	15.4%	7.7%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%	100.0%	

(表21)

学部・研究科	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	26歳～ 30歳	計
社会学部	教授	0	1	4	1	2	0	0	0	0	0	8
		0.0%	12.5%	50.0%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	准教授	0	0	0	0	1	0	5	1	0	0	7
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	専任講師	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	100.0%
助教	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	0.0%
学部計	0	1	4	1	3	0	6	2	1	0	0	18
	0.0%	5.6%	22.2%	5.6%	16.7%	0.0%	33.3%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%	100.0%
国際教養学部	教授	0	4	4	6	4	2	0	0	0	0	20
		0.0%	20.0%	20.0%	30.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	准教授	0	0	0	0	1	0	2	1	1	0	5
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	100.0%
助教	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	0.0%
学部計	0	4	4	6	5	2	2	2	2	3	0	28
	0.0%	14.3%	14.3%	21.4%	17.9%	7.1%	7.1%	7.1%	7.1%	10.7%	0.0%	100.0%
大学合計		1	19	24	22	22	12	16	12	11	1	140
		0.7%	13.6%	17.1%	15.7%	15.7%	8.6%	11.4%	8.6%	7.9%	0.7%	100.0%
定年 65 歳												

[注] 1 「IV 1 全学の教員組織」(表19)のうち、学部、大学院研究科(及びその他の組織)に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。

ただし、教養教育担当者が学部に分属しているものの教養教育は全学共通で行っている場合は、その教員数を学部から除き、教養教育担当者の表を学部準じて別個に作成してください。

2 各欄の下段にはそれぞれ「計」欄の数値に対する割合を記入してください。

4 専任教員の担当授業時間

経済学部（32人）

（表22）

区分 \ 教員	教授	准教授	講師	助教	備考
最高	21.3	11.5	11.1	—	1 授業時間 45 分 (1 コマ 90 分)
最低	8.0	11.0	8.0	—	
平均	16.4	11.1	10.3	—	
責任授業時間数	11	11	11	—	

教授には役職者のためコマ数を減じているものがある。

※1 学長は15回授業のうち1回のみを担当するだけなので授業を担当しない教員として除く。

※1 育児休業中の准教授1名除く。

経営学部（36人）

（表22）

区分 \ 教員	教授	准教授	講師	助教	備考
最高	27.07	13.075	11.1	—	1 授業時間 45 分 (1 コマ 90 分)
最低	12.14	8.075	11.0	—	
平均	17.86	11.695	11.0	—	
責任授業時間数	11	11	11	—	

教授には役職者のためコマ数を減じているものがある。

※1 海外研修中の准教授1名除く。

心理学部（26人）

（表22）

区分 \ 教員	教授	准教授	講師	助教	備考
最高	20.8	19.8	14.5	—	1 授業時間 45 分 (1 コマ 90 分)
最低	10.4	8.0	14.5	—	
平均	14.3	15.8	14.5	—	

責任授業時間数	11	11	11	—	
---------	----	----	----	---	--

教授には役職者のためコマ数を減じているものがある。
 准教授には附置施設専任であるためコマ数を減じているものがある。
 ※1 授業を担当しない講師 1 名除く。

社会学部（18人）

（表22）

区分 \ 教員	教授	准教授	講師	助教	備考
最高	12.4	12.3	12.3	—	1 授業時間 45 分 (1 コマ 90 分)
最低	7.0	9.2	11.1	—	
平均	11.2	11.6	11.8	—	

責任授業時間数	11	11	11	—	
---------	----	----	----	---	--

教授には役職者のためコマ数を減じているものがある。
 准教授には通院中であるためコマ数を減じているものがある。
 文学研究科社会学専攻には在学生在がいないため、社会学専攻担当教員11名は除く。

国際教養学部（28人）

（表22）

区分 \ 教員	教授	准教授	講師	助教	備考
最高	15.7	15.5	11.0	—	1 授業時間 45 分 (1 コマ 90 分)
最低	4.0	5.3	10.0	—	
平均	11.8	11.4	10.3	—	
責任授業時間数	11	11	11	—	

教授には役職者のためコマ数を減じているものがある。
 教授には国内研修のためコマ数を減じているものがある。
 准教授には育児休業中のためコマ数を減じているものがある。

- [注] 1 「IV 1 全学の教員組織」（表19）中、学部、大学院研究科（及びその他の組織）に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。
 なお、表19では、授業を担当していない教員を含めた作表をお願いしていますが、本表においては、担当授業時間数が「0」となる専任教員（例：サバティカル等による）は、本表には含めないでください。その際、表19の人数と本表の人数計が合わない理由を（※1）に付記してください。
 （記入例：※1「サバティカル取得中の教授1人を除く」）
- 2 「IV 2 専任教員個別表」（表20）で算出した年間平均毎週授業時間数をもとに、専任教員が当該大学において担当する1週間の最高、最低及び総平均授業時間を記載してください。
 - 3 「備考」欄に1授業時間が何分であるかを記入してください。ここでいう授業時間とはいわゆるコマではないので、1コマ90分の場合は、45分と記入してください。
 - 4 専任の教授、准教授、講師、助教の1週間の責任授業時間数等の規定が無い場合は、「責任授業時間数」欄には「—」を記入してください。
 - 5 担当授業時間が特に多い教員、または特に少ない教員がいる場合において、何らかの事由がある時は、そのことを欄外に付記してください。
 - 6 開設されてはいるものの、履修者のいない科目についても上表に含めること。

5 専任教員の給与

(表23)

学部・研究科		専任教員俸給額(年収) (円)			
		教授	准教授	講師	助教
経済学部	最低	10,484,554	8,196,425	8,319,610	0
	平均	12,959,961	10,893,781	8,369,057	0
経営学部	最低	9,346,650	7,112,970	8,363,989	0
	平均	12,625,930	9,176,597	8,606,890	0
心理学部	最低	10,608,011	7,813,797	7,754,765	0
	平均	12,828,231	10,334,943	7,754,765	0
社会学部	最低	12,559,670	9,157,961	6,358,905	0
	平均	12,978,916	10,086,120	7,669,242	0
国際教養学部	最低	11,651,995	8,978,842	6,518,138	0
	平均	12,945,161	10,053,265	7,136,494	0

[注] 1 本「大学基礎データ」作成前年(2008年)1月から12月の1年間を対象として作成してください。

2 年収は、諸手当を含めた前年の支給総額を記入してください。

3 原則として「IV 1 全学の教員組織」(表19)に掲げた組織の順に作成してください。

4 「最低」「平均」の記入にあたっては、上記1の期間途中での採用及び退職者は除いてください。

3 専任教員の研究費

(表29)

学部・研究科等	総額 (A)	総額 (B) (除、講座・研究室等の 共同研究費)	専任教員数 (C)	教員1人 当たりの額 ① (A/C)	教員1人 当たりの額 ② (B/C)	備考
経済学部	19,716,441	14,065,704	30	657,215	468,857	
経営学部	22,069,894	17,554,182	38	580,787	461,952	
心理学部	19,071,583	11,627,767	26	733,522	447,222	
社会学部	8,179,459	7,659,578	19	430,498	403,136	
国際教養学部	14,413,131	12,719,989	27	533,820	471,111	
計	83,450,508	63,627,220	140	596,075	454,480	

- [注] 1 2008年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2008年度の人数（助手を除く）を記入してください。
- 2 研究費総額（A）には、学科、研究室等ごとに支給される研究費も含めて記入してください。ただし、間接経費（水道光熱費、人件費等）は除いてください。また、競争的な研究費も含めないでください。
- 3 研究費総額（B）には、講座研究費、個人研究費等の名称は問わず、教員個人が専らその研究の用に充てるために支給される経常的経費（図書購入費、機器備品費、研究用消耗品費、アルバイトなどへの謝金等）を記入してください。
- 4 本表における専任教員数は、（表34）と一致します。

4 専任教員の研究旅費

(表30)

学部・研究科等		国外留学		国内留学		学会等出張旅費		備 考
		長期	短期	長期	短期	国外	国内	
経 済 学 部	総 額	0	797,465	382,980	0	274,120	56,330	専任教員数30人
	支 給 件 数	0	1	1	0	1	3	
経 営 学 部	総 額	2,889,900	0	0	0	764,490	40,000	専任教員数38人
	支 給 件 数	1	0	0	0	3	2	
心 理 学 部	総 額	0	385,618	0	0	300,000	48,340	専任教員数26人
	支 給 件 数	0	1	0	0	1	4	
社 会 学 部	総 額	0	0	0	0	174,410	0	専任教員数19人
	支 給 件 数	0	0	0	0	1	0	
国 際 教 養 学 部	総 額	0	0	0	0	0	0	専任教員数27人
	支 給 件 数	0	0	0	0	0	0	
計	総 額	2,889,900	1,183,083	382,980	0	1,513,020	144,670	留学(原則在籍年数3年以上の教員) 国外：規程に基づき交通費、滞在費を支給する。 (滞在費は期間に応じ1日7,960円～10,320円) 国内：(6ヶ月)500,000円を上限とする。 国内：(1ヶ年)1,000,000円を上限とする。 学会等出張旅費(1人につき年1回まで申請可) 国外：100,000円～300,000円 国内：20,000円 専任教員数140人
	支 給 件 数	1	2	1	0	6	9	

[注] 1 2008年度の実績をもとに作表してください。

2 教員研究旅費には、前表「3 専任教員の研究費(実績)」(表29)は含めないでください。

3 それぞれの研究旅費の支給条件(例えば、受給資格、支給額の上限等)を備考欄に注記してください。

4 留学の「長期」とは、1年以上のものをいい、1年未満を「短期」とします。

「5 学内共同研究費（表31）」
該当なし

6 教員研究費内訳

(表32)

学部・研究科等	研究費の内訳	2006年度		2007年度		2008年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
経済学部	研究費総額	18,557,476	100.0%	24,338,585	100.0%	21,727,336	100.0%	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	16,413,476	88.4%	21,882,585	89.9%	21,227,336	97.7%
		学内共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	学外	科学研究費補助金	2,144,000	11.6%	2,456,000	10.1%	500,000	2.3%
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		奨学寄附金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		受託研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		

(表32)

学部・研究科等	研究費の内訳	2006年度		2007年度		2008年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
経営学部	研究費総額	26,178,601	100.0%	25,410,822	100.0%	29,764,284	100.0%	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	21,678,601	82.8%	22,010,822	86.6%	25,764,284	86.6%
		学内共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	学外	科学研究費補助金	4,500,000	17.2%	3,400,000	13.4%	4,000,000	13.4%
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		奨学寄附金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		受託研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		

(表32)

学部・研究科等	研究費の内訳	2006年度		2007年度		2008年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
心 理 学 部	研究費総額	17,331,475	100.0%	21,049,704	100.0%	21,005,541	100.0%	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	16,831,475	97.1%	19,549,704	92.9%	19,805,541	94.3%
		学内共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	学外	科学研究費補助金	500,000	2.9%	1,500,000	7.1%	1,200,000	5.7%
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		奨学寄附金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		受託研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		

(表32)

学部・研究科等	研究費の内訳	2006年度		2007年度		2008年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
社 会 学 部	研究費総額	17,360,099	100.0%	13,270,554	100.0%	11,453,869	100.0%	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	8,977,290	51.7%	7,896,026	59.5%	8,353,869	72.9%
		学内共同研究費	3,342,809	19.3%	0	0.0%	0	0.0%
		その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	学外	科学研究費補助金	5,040,000	29.0%	5,374,528	40.5%	3,100,000	27.1%
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		奨学寄附金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		受託研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		

(表32)

学部・研究科等	研究費の内訳	2006年度		2007年度		2008年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
国際教養学部	研究費総額	24,322,541	100.0%	20,051,560	100.0%	19,213,131	100.0%	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	14,822,541	60.9%	15,251,560	76.1%	14,413,131	75.0%
		学内共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	学外	科学研究費補助金	9,500,000	39.1%	4,800,000	23.9%	4,800,000	25.0%
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		奨学寄附金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		受託研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	

(表32)

学部・研究科等	研究費の内訳	2006年度		2007年度		2008年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
合 計	研究費総額	103,750,192	100.0%	104,121,225	100.0%	103,164,161	100.0%	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	78,723,383	75.9%	86,590,697	83.2%	89,564,161	86.8%
		学内共同研究費	3,342,809	3.2%	0	0.0%	0	0.0%
		その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	学外	科学研究費補助金	21,684,000	20.9%	17,530,528	16.8%	13,600,000	13.2%
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		奨学寄附金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		受託研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	

[注] 1 学内研究費の「その他」欄には、(表29)の(A)+(表30)の計、経常研究費、(表31)でいう学内共同研究費以外に該当するものがある場合は記入してください。

[追手門学院大学 注記]

2008年度科学研究費交付額について

1. 全学部の交付額には、継続分が含まれており、研究分担者などへの配分額は含まれていません。
2. 2007年度経営学部の申請件数および採択件数には、2007年4月の転入者を含めています。

7 科学研究費の採択状況

(表33)

学部・研究科等	科 学 研 究 費								
	2006年度			2007年度			2008年度		
	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100
経済学部	7	1	14.3	3	0	0.0	7	0	0.0
経営学部	14	2	14.3	18	2	11.1	7	0	0.0
心理学部	5	0	0.0	7	1	14.3	3	0	0.0
社会学部	3	2	66.7	3	1	33.3	1	0	0.0
国際教養学部	5	1	20.0	3	0	0.0	6	2	33.3
経済学研究科	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
経営学研究科	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
文学研究科	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
計	34	6	17.6	34	4	11.8	24	2	8.3

[注] 1 教員、助手が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。

2 採択件数には、当該年度新規に採択された件数のみをあげ、前年度からの継続分は含めないでください。

[追手門学院大学 注記]

2007年度経営学部の申請件数および採択件数には、2007年4月の転入者を含めています。

8 学外からの研究費

(表34)

学部・研究科等	専任 教員数	科学研究費補助金		その他の学外研究費		合 計 (A+B)
		科学研究費 補助金総額 (A)	うちオーバーヘッド の額	その他の学外研究費 総額 (B)	うちオーバーヘッド の額	
経済学部	30	500,000	0	0	0	500,000
経営学部	38	4,000,000	0	0	0	4,000,000
心理学部	26	1,200,000	0	0	0	1,200,000
社会学部	19	3,100,000	0	0	0	3,100,000
国際教養学部	27	4,800,000	0	0	0	4,800,000
合 計	140	13,600,000	0	0	0	13,600,000

- [注] 1 教員が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。
 2 2008年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2008年度の人数を記入してください。
 3 「その他の学外研究費」には、科研費以外の政府もしくは政府関連法人からの研究助成金、民間の研究助成財団等からの研究助成金、奨学寄付金、受託研究費、共同研究費などが該当します。
 4 本表における専任教員数は、2008年度の教員数であり、(表29)及び(表30)と一致します。

[追手門学院大学 注記]

全学部の交付額には、継続分が含まれており、研究分担者などへの配分額は含まれていません。

9 教員研究室

(表35)

学 部 研究科	室 数			総面積 (㎡)	1室当たりの平均面積 (㎡)		専任教員数 (B)	個室率(%) (A/B*100)	教員1人当 たりの平均面積 (㎡)	備 考
	個室(A)	共 同	計		個 室	共 同				
経済学部	31	—	31	645	20.8	—	31	100	20.8	1名(学長)除く 経済学部の所属教員のう ち16名が経済学研究科担 当
経営学部	36	—	36	904	25.1	—	36	100	25.1	経営学部の所属教員のう ち25名が経営学研究科担 当
心理学部	26	—	26	616	23.7	—	26	100	23.7	心理学部の所属教員のう ち19名が心理学研究科担 当
社会学部	19	—	19	405	21.3	—	18	100	21.3	社会学部の所属教員のう ち11名が文学研究科社会 学専攻担当
国際教養学部	28	—	28	527	18.8	—	28	100	18.8	国際教養学部の所属教員 のうち17名が文学研究科 中国文化専攻・英文学専 攻担当
計	140	—	140	3,098	22.1	—	139	100	22.1	

[注] 1 「室数」「総面積」欄には、学部、大学院研究科等の保有する全ての教員研究室について記入してください。

2 「1室当たりの平均面積」は全ての教員研究室について、「教員1人当たりの平均面積」は学部、大学院研究科等の専任教員が実際に使用している教員研究室について算出してください。

3 「個室率」の算出にあたっては、個室数が専任教員数を上回る場合は、原則として100%と記入してください。

4 個室を持たない教員については、「備考」欄にその数を記入してください。

VI 施設・設備等

1 校地、校舎、講義室・演習室等の面積

(表36)

校 地 ・ 校 舎				講義室・演習室等	
校地面積 (m ²)	設置基準上必要 校地面積 (m ²)	校舎面積 (m ²)	設置基準上必要 校舎面積 (m ²)	講義室・演習室・ 学生自習室総数	講義室・演習室・ 学生自習室 総面積 (m ²)
123,967m ²	52,600m ²	63,307m ²	25,801m ²	146	13,230

- [注] 1 校舎面積に算入できる施設としては、講義室、演習室、学生自習室、実験・実習室、研究室、図書館（書庫、閲覧室、事務室）、管理関係施設（学長室、応接室、事務室（含記録庫）、会議室、受付、守衛室、宿直室、倉庫）、学生集会所、食堂、廊下、便所などが挙げられます。
- 2 講堂を講義室に準じて使用している場合は「講義室・演習室・学生自習室」に含めても結構です。
- 3 複数のキャンパスを設置している場合は、キャンパスごとに作表してください。

2 主要施設の概況

(表36-2)

施設名	用途	建築年	延床面積(m ²)	備考
体育館兼講堂	体育館・講堂	昭和43(1968)年	4,321.3m ²	
グラウンド倉庫	倉庫	平成17(2005)年	355.6m ²	
体育練習道場	道場	平成17(2005)年	164.0m ²	
グラウンド便所	便所	平成17(2005)年	11.9m ²	
体育館前倉庫	倉庫	平成18(2006)年	53.9m ²	
大学2号館	講義室、演習室等	昭和44(1969)年	5,907.0m ²	
渡り廊下	通路	昭和42(1967)年	45.6m ²	
倉庫(旧ボイラー室)		昭和54(1979)年	221.4m ²	将軍山会館として建て替え
車庫		昭和45(1970)年	47.8m ²	将軍山会館として建て替え

(表36-2)

施設名	用途	建築年	延床面積(m ²)	備考
2号館北裏倉庫(西)	倉庫	昭和45(1970)年	32.4m ²	
2号館北裏倉庫(東)	倉庫	昭和53(1978)年	97.2m ²	
研究棟	研究室	昭和44(1969)年	3,509.3m ²	
図書館	図書室	昭和45(1970)年	2,319.2m ²	
大学3号館	講義室	昭和46(1971)年	2,193.9m ²	
大学3号館南温室	演習用設備	平成09(1997)年	10.7m ²	
大学3号館前 段差解消機	身体障がい者用設備	平成09(1997)年	4.1m ²	
大学1号館	事務室等	昭和41(1966)年	3,793.3m ²	老朽化により建て替え予定 (平成21(2009)年度完成予定)
守衛室	守衛室	平成17(2005)年	106.2m ²	

(表36-2)

施設名	用途	建築年	延床面積(m ²)	備考
管理センター	設備管理	平成18(2006)年	96.3m ²	
日本文化研修道場 (松籟庵)	茶室	昭和51(1976)年	70.1m ²	
学生会館	学生会館	昭和52(1977)年	3,553.1m ²	
大学4号館	講義室	昭和59(1984)年	3,784.9m ²	
学友会センター	学生福利厚生施設・イベントホール 他	昭和62(1987)年	4,635.5m ²	
第2研究棟	研究室	平成02(1990)年	215.3m ²	
身障者トイレ (1号館北東)		平成02(1990)年	5.7m ²	1号館建て替えに含む
大学5号館	講義室・研究室 他	平成08(1996)年	11,360.3m ²	
第2学友会センター	学生部室	平成08(1996)年	1,028.9m ²	

(表36-2)

施設名	用途	建築年	延床面積(m ²)	備考
陶芸釜置場	演習用設備	平成08(1996)年	10.0m ²	
プロパン庫 (第2学友会センター東)	倉庫	平成08(1996)年	14.1m ²	
浄化槽 (第1駐車場西)	浄化槽	平成08(1996)年	375.0m ²	
6号館	講義室	平成18(2006)年	3,006.7m ²	
中央棟	研究室 他	平成18(2006)年	5,884.2m ²	
食堂	食堂	平成12(2000)年	4,416.4m ²	
1号館別館		昭和57(1982)年	933.3m ²	1号館建て替えに含む
地域支援心理研究センター	研究所・カウンセリング	平成17(2005)年	656.2m ²	

[注] 1 「財産目録」記載のうち、教育研究活動に使用されている主要な建物について記載してください。

2 上記、施設の大規模な改築や改修計画がある場合は、備考欄にその旨記入してください。

3 学部・研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模

(表37)

学部・研究科等	講義室・演習室 学生自習室等	室数	総面積(m ²) (A)	専用・共用 の別	収容人員 (総数)	利用学生 総数 (B)	利用学生1人当 り面積(m ²) (A/B)	備考
学部 学生	講義室	44	3,547	共用	2,753	4,414	0.8	大学院研究科との共用
	演習室	51	7,998	共用	6,264	4,414	1.8	大学院研究科との共用
		26	880	専用	260	4,414	0.2	大学院研究科との共用
大研 学院科	講義室	6	199	共用	72	47	4.2	
	院生室	19	606	専用	73	47	12.9	
	体育館・講堂	1	4,321	共用				

[注] 1 学部、大学院研究科ごとに記載してください。

- 2 当該施設を複数学部、研究科、短期大学等が共用している場合には、当該学部・大学院研究科専用の施設とは別個に記載し、「専用・共用の別」欄にその旨を明記するとともに、「利用学生総数」欄にも共用する学部、研究科、短期大学等の学生を含めた数値を記入してください。
- 3 キャンパスごとに施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄にキャンパス名を記入してください。
- 4 全学で全ての施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄に「全学共通」と記入してください。
- 5 教養教育のための専用施設がある場合は、学部に準じて記載してください。
- 6 「利用学生1人当たり面積」は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで記入してください。
- 7 他学部、研究科等と共用で使用している講義室・演習室等の「利用学生1人当たりの面積」の算出に当たっては、当該施設を利用しているすべての学部、研究科の学生数（短期大学と共用している場合は、短期大学の学生数を含む）で総面積を除して算出してください。

4 学部・研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規模

(表38)

用途別室名	室数	総面積 (㎡)	収容人員 (総数)	収容人員1人当 たりの面積(㎡)	使用学部・研究科等	備考
2102 地理学演習室	1	40	10	4.0	共用	
2113 視覚情報処理実験室	1	43	10	4.3	専用 (心理学部)	
2207 心理学研究法演習室	1	130	56	2.3	専用 (心理学部)	
2208 心理学科資料室	1	21	6	3.6	専用 (心理学部)	
2210 心理実験準備室	1	40	10	4.0	専用 (心理学部)	
2211 心理パソコン実習室	1	40	12	3.3	専用 (心理学部)	
中実験室-1	1	20	12	1.7	専用 (心理学部)	
中実験室-2	1	20	12	1.7	専用 (心理学部)	
2214 音響心理実験室	1	17	3	5.8	専用 (心理学部)	
2215 実験暗室	1	17	0	0.0	専用 (心理学部)	
2216 小実験室-1 (面接室1)	1	14	2	6.9	専用 (心理学部)	
2217 小実験室-2 (面接室2)	1	13	2	6.4	専用 (心理学部)	
2218 小実験室-3	1	14	4	3.4	専用 (心理学部)	
2219 小実験室-4	1	14	0	0.0	専用 (心理学部)	

(表38)

用途別室名	室数	総面積 (㎡)	収容人員 (総数)	収容人員1人当たりの面積(㎡)	使用学部・研究科等	備考
2 2 2 0 小実験室一5	1	13	4	3.2	専用 (心理学部)	
2 2 2 1 小実験室一6	1	14	0	0.0	専用 (心理学部)	
2 2 2 2 小実験室一7	1	13	2	6.6	専用 (心理学部)	
2 2 2 3 小実験室一8	1	13	5	2.6	専用 (心理学部)	
大学院文献図書室	1	23	16	1.4	専用 (心理学部)	学部生使用
防響室前室	1	18	0	0.0	専用 (心理学部)	
防響室	1	31	0	0.0	専用 (心理学部)	
2 3 0 1 視聴覚教室	1	261	230	1.1	共用	
2 3 0 6 臨床心理学実験室	1	65	15	4.3	専用 (心理学部)	
2 3 0 7 観察室	1	22	8	2.8	専用 (心理学部)	
2 3 0 8 小集団実験室	1	43	15	2.8	専用 (心理学部)	
2 3 1 4 大実験室	1	65	20	3.2	専用 (心理学部)	
2 4 0 2 視聴覚教室	1	273	266	1.0	共用	
2 4 0 4 視聴覚教室	1	384	419	0.9	共用	
3 3 0 1 視聴覚教室	1	236	203	1.2	共用	

(表38)

用途別室名	室数	総面積 (㎡)	収容人員 (総数)	収容人員1人当 たりの面積(㎡)	使用学部・研究科等	備考
3302視聴覚教室	1	270	255	1.1	共用	
4201視聴覚教室	1	137	120	1.1	共用	
4203視聴覚教室	1	134	120	1.1	共用	
4301視聴覚教室	1	70	53	1.3	共用	
4302視聴覚教室	1	67	53	1.3	共用	
4303視聴覚教室	1	67	53	1.3	共用	
4304視聴覚教室	1	67	53	1.3	共用	
4305視聴覚教室	1	67	53	1.3	共用	
4306視聴覚教室	1	70	53	1.3	共用	
4307視聴覚教室	1	67	53	1.3	共用	
4308視聴覚教室	1	70	52	1.3	共用	
4401視聴覚教室	1	70	52	1.4	共用	
4402視聴覚教室	1	134	105	1.3	共用	
4403視聴覚教室	1	134	120	1.1	共用	
4404視聴覚教室	1	70	53	1.3	共用	

(表38)

用途別室名	室数	総面積 (㎡)	収容人員 (総数)	収容人員1人当たりの面積(㎡)	使用学部・研究科等	備考
4405視聴覚教室	1	137	105	1.3	共用	
4507視聴覚教室	1	67	53	1.3	共用	
4508視聴覚教室	1	70	53	1.3	共用	
4509視聴覚教室	1	67	53	1.3	共用	
4510視聴覚教室	1	70	52	1.3	共用	
5101コミュニケーション演習室-1	1	112	40	2.8	共用	
5102コミュニケーション演習室-2	1	77	30	2.6	共用	
5103コミュニケーション演習室-3	1	77	30	2.6	共用	
5104コミュニケーション演習室-4	1	77	30	2.6	共用	
福祉実習支援センター	1	48	0	0.0	専用 (社会学部)	
5201AV教室-1	1	296	288	1.0	共用	
5202AV教室-2	1	218	186	1.2	共用	
5203AV教室-3	1	296	288	1.0	共用	
5301フォーラム教室	1	294	178	1.6	共用	
5302視聴覚教室	1	219	183	1.2	共用	

(表38)

用途別室名	室数	総面積 (㎡)	収容人員 (総数)	収容人員1人当たりの面積(㎡)	使用学部・研究科等	備考
マルチメディアラボラトリ	1	119	32	3.7	共用	
言語情報演習室	1	114	42	2.7	共用	
高度情報処理演習室	1	51	20	2.6	共用	
5406メインサーバー室	1	110	0	0.0	共用	
5407情報処理演習室-1	1	191	72	2.7	共用	
5408情報処理演習室-2	1	99	50	2.0	共用	
5409情報処理演習室-3	1	107	50	2.1	共用	
5601LL教室-1	1	113	42	2.7	共用	
5602LL教室-2	1	154	48	3.2	共用	
5603マスタールーム	1	62	0	0.0	共用	
5604LL教室-3	1	220	72	3.1	共用	
5606視聴覚教室	1	206	180	1.1	共用	
調査・福祉実習室	1	109	46	2.4	専用(社会学部)	
6101視聴覚教室	1	367	391	0.9	共用	
6102視聴覚教室	1	367	391	0.9	共用	

(表38)

用途別室名	室数	総面積 (㎡)	収容人員 (総数)	収容人員1人当たりの面積(㎡)	使用学部・研究科等	備考
6103視聴覚教室	1	367	384	1.0	共用	
6201視聴覚教室	1	538	555	1.0	共用	
713・714生物実験室	1	40	0	0.0	共用	
計	77	8,878	6,534	1.4		

- [注] 1 原則として学部・研究科ごとにまとめてください。
- 2 「用途別室名」欄には、その施設の用途が具体的にわかるような名称を記入してください。
- 3 当該施設を複数の学部・研究科もしくは併設の短期大学と共用している場合は、その学部名等のすべてを「使用学部・研究科等」欄に記載し、本表において同一施設を重複して記載しないでください。
- 4 語学学習施設・情報処理学習施設、ビデオ・オーディオルームその他の視聴覚教室施設等も、ここに記入してください。
- 5 教養教育のための施設については「使用学部・研究科等」欄にその旨記入してください。
- 6 実習室としての機能を備えているものの、講義室・演習室等としての利用が中心である施設については、前表「3 学部・研究科等ごとの講義室、演習室等の面積・規模」(表37)の講義室・演習室に含めても結構です。その場合は、当該施設の本表での記載に当たっては、「備考」欄に必ず「【再掲】」と記入してください。
- 7 実験・実習室の主な設備・機器の設置とその更新状況については、点検・評価報告書に記載してください。

4 学部・研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況一覧表

(表40)

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
経済学部	1 ～ 50	26	475	118	24.8	
	51 ～ 100	43		168	35.4	
	101 ～ 150	11		46	9.7	
	151 ～ 200	13		62	13.1	
	201 ～ 250	4		15	3.2	
	251 ～ 300	7		26	5.5	
	301 ～ 350	0		0	0.0	
	351 ～ 400	5		24	5.1	
	401 ～ 450	2		10	2.1	
	451 ～ 500	0		0	0.0	
	501 ～ 550	2		6	1.3	
計		113		475	100.0	

(表40)

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
経営学部	1 ~ 50	36	525	179	34.1	
	51 ~ 100	48		144	27.4	
	101 ~ 150	12		43	8.2	
	151 ~ 200	12		79	15.0	
	201 ~ 250	3		8	1.5	
	251 ~ 300	8		35	6.7	
	301 ~ 350	0		0	0.0	
	351 ~ 400	6		29	5.5	
	401 ~ 450	1		3	0.6	
	451 ~ 500	0		0	0.0	
	501 ~ 550	2		5	1.0	
計		128		525	100.0	

(表40)

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
心理学部	1 ~ 50	16	300	64	21.3	
	51 ~ 100	27		125	41.7	
	101 ~ 150	10		33	11.0	
	151 ~ 200	5		21	7.0	
	201 ~ 250	2		10	3.3	
	251 ~ 300	3		27	9.0	
	301 ~ 350	0		0	0.0	
	351 ~ 400	3		10	3.3	
	401 ~ 450	1		9	3.0	
	451 ~ 500	0		0	0.0	
	501 ~ 550	1		1	0.3	
計		68		300	100.0	

(表40)

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
社会学部	1 ~ 50	20	215	96	44.7	
	51 ~ 100	17		28	13.0	
	101 ~ 150	6		28	13.0	
	151 ~ 200	4		15	7.0	
	201 ~ 250	2		20	9.3	
	251 ~ 300	4		18	8.4	
	301 ~ 350	0		0	0.0	
	351 ~ 400	2		4	1.9	
	401 ~ 450	1		4	1.9	
	451 ~ 500	0		0	0.0	
	501 ~ 550	1		2	0.9	
計		57		215	100.0	

(表40)

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
国際教養学部	1 ~ 50	22	520	100	19.2	
	51 ~ 100	45		299	57.5	
	101 ~ 150	12		51	9.8	
	151 ~ 200	8		41	7.9	
	201 ~ 250	3		8	1.5	
	251 ~ 300	7		16	3.1	
	301 ~ 350	0		0	0.0	
	351 ~ 400	4		5	1.0	
	401 ~ 450	0		0	0.0	
	451 ~ 500	0		0	0.0	
	501 ~ 550	0		0	0.0	
計		101		520	100.0	

(表40)

研究科名	収容人員	使用教室数	開設総授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備考
経済学研究科	1 ~ 50	10	108	108	100.0	
	51 ~ 100	0		0	0.0	
	101 ~ 150	0		0	0.0	
	151 ~ 200	0		0	0.0	
	201 ~ 250	0		0	0.0	
	251 ~ 300	0		0	0.0	
	301 ~ 350	0		0	0.0	
	351 ~ 400	0		0	0.0	
	401 ~ 450	0		0	0.0	
	451 ~ 500	0		0	0.0	
	501 ~ 550	0		0	0.0	
計		10		108	100.0	

(表40)

研究科名	収容人員	使用教室数	開設総授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備考
経営学研究科	1 ~ 50	16	154	152	98.7	
	51 ~ 100	1		2	1.3	
	101 ~ 150	0		0	0.0	
	151 ~ 200	0		0	0.0	
	201 ~ 250	0		0	0.0	
	251 ~ 300	0		0	0.0	
	301 ~ 350	0		0	0.0	
	351 ~ 400	0		0	0.0	
	401 ~ 450	0		0	0.0	
	451 ~ 500	0		0	0.0	
	501 ~ 550	0		0	0.0	
計		17		154	100.0	

(表40)

研究科名	収容人員	使用教室数	開設総授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備考
心理学研究科	1 ~ 50	5	86	86	100.0	
	51 ~ 100	0		0	0.0	
	101 ~ 150	0		0	0.0	
	151 ~ 200	0		0	0.0	
	201 ~ 250	0		0	0.0	
	251 ~ 300	0		0	0.0	
	301 ~ 350	0		0	0.0	
	351 ~ 400	0		0	0.0	
	401 ~ 450	0		0	0.0	
	451 ~ 500	0		0	0.0	
	501 ~ 550	0		0	0.0	
計		5		86	100.0	

(表40)

研究科名	収容人員	使用教室数	開設総授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備考
文学研究科	1 ~ 50	10	48	46	95.8	
	51 ~ 100	1		2	4.2	
	101 ~ 150	0		0	0.0	
	151 ~ 200	0		0	0.0	
	201 ~ 250	0		0	0.0	
	251 ~ 300	0		0	0.0	
	301 ~ 350	0		0	0.0	
	351 ~ 400	0		0	0.0	
	401 ~ 450	0		0	0.0	
	451 ~ 500	0		0	0.0	
	501 ~ 550	0		0	0.0	
計		11		48	100.0	

[注] 1 原則として学部・研究科ごとに作成してください。

2 使用教室数は、当該学部の正規の授業として使用している教室数を指し、開設総授業数とは、1週間の総授業科目のうち、講義室・演習室を使用する全ての授業数を示します。なお、使用率は、(使用度数/開設総授業数)により算出してください。例えば、「英語Ⅰ」を、それぞれ週1回3クラス設置している場合、開設総授業数は「3」になります。

3 セメスター制を採用している場合で、使用状況が大きく異なる場合については、セメスターごとに作表してください。

[追手門学院大学 注記]

1. 体育館での授業科目は除く。
2. 授業科目を通年(春学期開講科目+秋学期開講科目)でカウントしている。

VII 図書・電子媒体

1 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況

(表41)

図書館の名称	図書の冊数 (冊)		定期刊行物の種類 (種類)		視聴覚資料 の所蔵数 (点数)	電子ジャー ナルの種類 (種類)	過去3年間の図書受け入れ状況			備 考
	図書の冊数	開架図書の 冊数(内数)	内国書	外国書			2006年度	2007年度	2008年度	
大学図書館	478,164	74,178	4,939	1,510	12,155	9,770	8,939	18,375	9,787	
計	478,164	74,178	4,939	1,510	12,155	9,770	8,939	18,375	9,787	

- [注] 1 雑誌等ですでに製本済みのものは図書の冊数に加えても結構です。
 2 視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、スライド、映画フィルム、CD-ROM等を含めてください。
 3 電子ジャーナルが中央図書館で集中管理されている場合は、中央図書館にのみ数値を記入し、備考欄にその旨を注記してください。
 4 視聴覚資料の所蔵数については、タイトル数を記載してください。

2 図書館利用状況

(表42)

図書館の名称	専任 スタッフ数	非常勤 スタッフ数	年間 開館日数	開館時間	年間利用者数（延べ数）			年間貸出冊数			備 考
					2006年度	2007年度	2008年度	2006年度	2007年度	2008年度	
大学図書館	4 (3)	16 (16)	264	月～金 9:20～19:50	191,471人	183,279人	177,349人	37,153冊	43,820冊	42,958冊	*日曜、祭日の開館は2008年度は7日。*年間利用者数には入館者数を記入。内訳は不明(学外者も含まれる)
				土 9:20～17:00	()	()	()	学生 31,718冊	学生 35,846冊	学生 36,596冊	
				日祭日 9:20～17:00	()	()	()	教職員 5,435冊	教職員 7,974冊	教職員 6,362冊	
				長期休暇中 9:20～18:00	()	()	()				

- [注] 1 スタッフ数は、専任、非常勤ごとに、司書の資格を有するものを（ ）内に内数で記入してください。
- 2 年間利用者数・貸出冊数には、一般開放による地域住民等の人数や冊数は含まないで、学生及び教職員の利用状況を記入してください。
- 3 「開館時間」に上記以外の時間帯がある場合は、作表してください。
- 4 「年間利用者数（延べ数）」および「年間貸出冊数」について、教員・職員・学生の別に内訳を把握している場合は、（ ）に記入してください。

3 学生閲覧室等

(表43)

図書館の名称	学生閲覧室 座席数(A)	学生収容定員 (B)	収容定員に対する座 席数の割合(%) $A/B * 100$	その他の学習室の座席数 ()	備 考
大学図書館	560	5,418	10.3	37 (宮本輝ミュージアム、参考図書 室、新聞コーナー、5号館通路)	学部5,260名、 大学院158名
計	560	5,418	10.3	(37)	

- [注] 1 「学生収容定員」には、学部学生、大学院学生、専攻科、別科の学生収容定員のほか、当該施設を短期大学と共用している場合には、短大の学生収容定員もこの数に加えてください。
- 2 「その他の学習室」の具体的名称を「その他の学習室の座席数」欄のカッコ内に記入一般開放による地域住民等は含めないでください。
- 3 「備考」欄には学生収容定員 (B) の内訳を、学部、大学院、専攻科、別科、短期大学ごとに記入してください。

VIII 学生生活

1 奨学金給付・貸与状況

(表44)

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象学生数 (A)	在籍学生総数 (B)	在籍学生数に対する比率 $A/B*100$	支給総額 (C)	1件当たり支給額 C/A
日本学生支援機構第1種	学外	貸与	418	6,431	6.5	272,361,000	651,581
日本学生支援機構第2種	学外	貸与	1,437	6,431	22.3	1,150,661,000	800,738
追手門学院大学奨学金	学内	貸与	42	6,337	0.7	27,216,000	648,000
追手門学院大学入学試験成績優秀者給付奨学金	学内	給付	1	6,337	0.0	750,000	750,000
追手門学院大学学業成績優秀者給付奨学金	学内	給付	24	6,337	0.4	18,000,000	750,000
追手門学院大学教育後援会給付奨学金	学内	給付	15	6,337	0.2	5,625,000	375,000
追手門学院大学教育後援会修学援助給付奨学金	学内	給付	4	6,337	0.1	2,000,000	500,000
追手門学院大学教育後援会スポーツ活動実績優秀者給付奨励金	学内	給付	5	6,337	0.1	1,200,000	240,000
交通遺児育英会	学外	貸与	1	6,337	0.0	720,000	720,000
あしなが育英会	学外	貸与	6	6,337	0.1	2,880,000	480,000
小野奨学会	学外	給付	10	6,431	0.2	3,960,000	396,000
大東育英会	学外	給付	3	6,337	0.0	540,000	180,000
電通育英会	学外	貸与	1	6,337	0.0	480,000	480,000
朝鮮奨学会	学外	給付	2	6,337	0.0	600,000	300,000
瀧川奨学会	学外	給付	1	6,337	0.0	300,000	300,000

[注] 1 2008年度実績をもとに作表してください。

2 学部・大学院共通、学部対象、大学院対象の順に作成してください。

3 当該奨学金が学部学生のみを対象とする場合は、「在籍学生総数」欄には学部学生の在籍学生総数を、大学院学生のみを対象とする場合は、大学院の在籍学生総数を記載してください。

4 日本学生支援機構による奨学金も記載してください。

1 奨学金給付・貸与状況（外国人留学生分）

（表44）

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象学生数（A）	在籍学生総数（B）	在籍学生数に対する比率 $A/B*100$	支給総額（C）	1件当たり支給額 C/A
追手門学院大学私費外国人留学生奨学金（学部対象）	学内	給付	23	124	18.5	13,800,000	600,000
追手門学院大学私費外国人留学生奨学金（院対象）	学内	給付	10	42	23.8	8,400,000	840,000
日本学生支援機構・私費外国人留学生学習奨励費（学部対象）	学外	給付	16	124	12.9	9,600,000	600,000
日本学生支援機構・私費外国人留学生学習奨励費（院対象）	学外	給付	6	42	14.3	5,040,000	840,000
文部科学省・国費外国人留学生奨学金（院対象）	学外	給付	2	42	4.8	3,840,000	1,920,000
茨木市・国際親善都市協会留学生奨学金	学外	給付	1	166	0.6	60,000	60,000
ロータリー米山記念奨学金	学外	給付	0	166	0	0	0
大遊協国際交流・援助・研究協会奨学金	学外	給付	2	166	1.2	1,440,000	720,000

[注] 1 2008年度実績をもとに作表してください。

2 学部・大学院共通、学部対象、大学院対象の順に作成してください。

3 当該奨学金が学部学生のみを対象とする場合は、「在籍学生総数」欄には学部学生の在籍学生総数を、大学院学生のみを対象とする場合は、大学院の在籍学生総数を記載してください。

4 日本学生支援機構による奨学金も記載してください。

2 学生相談室利用状況

(表45)

施設の名称	専任 スタッフ数	非常勤 スタッフ数	週当たり 開室日数	年間 開室日数	開室時間	年間相談件数			備 考
						2006年度	2007年度	2008年度	
学生相談室	3	7	6	251	9：20～17：00（平日） 9：20～13：00（土曜）	875	812	965	「*」

[注] 1 専任、非常勤ごとに、スタッフの種類（医師、資格を持ったカウンセラー、教員、職員等）を備考欄または欄外に記載してください。

2 年間相談件数は、延べ数を記載してください。

[追手門学院大学 注記]

*スタッフの種類について

専任スタッフ： 教員2名(内カウンセラー1名)、職員1名

非常勤スタッフ： 有資格カウンセラー5名、医師1名、職員1名

IX 財 務

1-1 消費収支計算書関係比率（法人全体のもの） ※私立大学のみ

（表46）

	比 率	算 式（*100）	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	備 考
1	人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	% 44.5	% 44.9	% 43.7	% 45.0	% 44.3	
2	人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	58.2	59.7	59.3	61.2	58.7	
3	教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	28.7	27.5	28.7	31.2	35.6	
4	管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	6.7	7.6	8.6	10.8	10.2	
5	借 入 金 等 利 息 比 率	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
6	帰 属 収 支 差 額 比 率	$\frac{\text{帰 属 収 入} - \text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	19.6	17.4	16.8	6.6	8.7	
7	消 費 支 出 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	80.4	82.6	83.2	93.4	91.3	
8	消 費 収 支 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	94.7	95.7	109.5	107.8	101.8	
9	学 生 生 徒 等 納 付 金 比 率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	76.4	75.2	73.7	73.5	75.5	
10	寄 付 金 比 率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	3.6	4.9	4.2	5.6	3.8	
11	補 助 金 比 率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	11.6	10.7	11.5	10.9	13.0	
12	基 本 金 組 入 率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	15.0	13.7	24.0	13.3	10.3	
13	減 価 償 却 費 比 率	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{消 費 支 出}}$	10.1	9.4	9.2	8.7	10.6	

[注] 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の消費収支計算書（法人全体のもの）を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。

なお、法人として当該大学のみを運営している場合は、本表のみを作表してください。ただし、医・歯学部等で附属病院を併設している場合は、次表（表46-2）も作成してください。

1-2 消費収支計算書関係比率（大学単独のもの） ※私立大学のみ

(表46-2)

	比 率	算 式 (*100)	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	備 考
1	人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	37.2	38.7	37.5	39.7	37.3	
2	人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	43.1	46.0	45.7	49.0	45.4	
3	教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	31.3	30.7	30.7	33.9	38.1	
4	管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	7.9	8.8	9.7	11.1	8.7	
5	借 入 金 等 利 息 比 率	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
6	帰 属 収 支 差 額 比 率	$\frac{\text{帰 属 収 入} - \text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	19.8	12.4	16.2	1.0	10.9	
7	消 費 支 出 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	80.2	87.6	83.8	99.0	89.1	
8	消 費 収 支 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	99.4	90.0	97.6	108.6	99.3	
9	学 生 生 徒 等 納 付 金 比 率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	86.5	84.2	82.0	80.9	82.2	
10	寄 付 金 比 率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.5	1.6	0.4	2.8	0.5	
11	補 助 金 比 率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	6.0	4.7	6.5	5.9	9.7	
12	基 本 金 組 入 率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	19.2	2.6	14.2	8.8	10.3	
13	減 価 償 却 費 比 率	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{消 費 支 出}}$	11.9	10.1	10.7	9.7	11.1	

[注] 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の消費収支計算書（大学単独のもの）を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。

2 貸借対照表関係比率（私立大学のみ）

（表47）

	比 率	算 式（*100）	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	備 考
1	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	% 85.4	% 85.8	% 86.0	% 87.3	% 86.5	
2	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	14.6	14.2	14.0	12.7	13.5	
3	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資金}}$	10.6	10.0	8.7	7.9	7.6	
4	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資金}}$	6.7	6.5	7.4	9.6	5.8	
5	自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	82.6	83.5	84.0	82.5	86.5	
6	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資金}}$	2.3	3.6	1.5	△0.3	0.5	
7	固 定 比 率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	103.4	102.8	102.4	105.8	100.0	
8	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}+\text{固定負債}}$	91.6	91.8	92.8	96.6	91.9	
9	流 動 比 率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	216.4	219.3	190.4	131.7	231.9	
10	総 負 債 比 率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	17.4	16.5	16.0	17.5	13.5	
11	負 債 比 率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	21.0	19.7	19.1	21.2	15.5	
12	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	334.7	337.8	323.0	329.3	357.9	
13	退職給与引当預金率	$\frac{\text{退職給与引当特定預金（資産）}}{\text{退職給与引当金}}$	48.1	52.3	58.6	63.4	66.0	
14	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	100.0	99.8	99.3	99.5	100.0	
15	減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価格（図書を除く）}}$	45.6	46.0	43.2	39.1	39.3	

[注] 1 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の貸借対照表を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。

2 「総資金」は負債＋基本金＋消費収支差額を、「自己資金」は基本金＋消費収支差額をあらわします。

X 情報公開・説明責任

1 財政公開状況（私立大学のみ）

（表48）

公開の対象者	公開している 財務諸表及び その解説	公開の方法							開示請求があ れば対応する
		自己点検・ 評価報告書	学内広報誌・紙	大学機関誌・紙	財務状況に 関する報告書	学内LAN	ホームページ (Web等)	その他 ()	
教職員	資金収支計算書	○		○			○		
	消費収支計算書	○		○			○		
	貸借対照表	○					○		
	財務状況に関する解説	○		○			○		
	その他（財産目録）						○		
	その他（監事監査報告書）						○		
	その他（事業報告書）						○		
在学生	資金収支計算書						○		
	消費収支計算書						○		
	貸借対照表						○		
	財務状況に関する解説						○		
	その他（財産目録）						○		
	その他（監事監査報告書）						○		
	その他（事業報告書）						○		
卒業生	資金収支計算書						○		
	消費収支計算書						○		
	貸借対照表						○		
	財務状況に関する解説						○		
	その他（財産目録）						○		
	その他（監事監査報告書）						○		
	その他（事業報告書）						○		
保護者	資金収支計算書						○		
	消費収支計算書						○		
	貸借対照表						○		
	財務状況に関する解説						○		
	その他（財産目録）						○		
	その他（監事監査報告書）						○		
	その他（事業報告書）						○		

(表48)

公開の対象者	公開している 財務諸表及び その解説	公開の方法							
		自己点検・ 評価報告書	学内広報誌・紙	大学機関誌・紙	財務状況に 関する報告書	学内LAN	ホームページ (Web等)	その他 ()	開示請求があ れば対応する
社会・一般 (不特定多数)	資金収支計算書						○		
	消費収支計算書						○		
	貸借対照表						○		
	財務状況に関する解説						○		
	その他(財産目録)						○		
	その他(監事監査報告書)						○		
	その他(事業報告書)						○		
その他 ()	資金収支計算書								
	消費収支計算書								
	貸借対照表								
	財務状況に関する解説								
	その他()								
	その他()								
	その他()								

- [注] 1 2008年度決算について2009年度中に公開した対象・方法をすべて記入してください。
- 2 「公開している財務諸表及びその解説」欄のうち、「財務状況に関する解説」については、事業内容と関連させた財務状況の解説が付されているかについて、該当する「公開方法」欄へ○を付してください。
- 3 各対象者への財政公開を行っていないが開示請求があれば対応するという場合には、「開示請求があれば対応する」欄に○を付してください。
- 4 「公開の対象者」および「公開の方法」欄の「その他」には、カッコ内に具体的な名称を記入してください。また、「公開している財務諸表及びその解説」欄の「その他」には、監事監査報告書、財産目録、事業報告書等の具体名を記入してください。
- 5 2009年度決算の公開にあたり変更が予定されている場合には、欄外に注記してください。なお、その場合、公開した時点で該当する資料を提出してください。